

令和 5 年 度
(2023年度)

事 業 年 報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

青森県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人 道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中 立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独 立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

は じ め に

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

本年1月1日に発生した石川県能登半島を震源とする最大震度7の地震による被害は誠に甚大で、多くの尊い人命が失われ、負傷者も多数に上りました。犠牲になられた方々に対し、深い哀悼の意を表しますとともに、すべての被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。

日本赤十字社では、発災直後から医療救護班・災害医療コーディネートチーム・こころのケア班の派遣、毛布や安眠セットなどの救援物資を届けたほか、義援金の受付を行うなど、全社を挙げて被災者支援のための活動を行いました。当支部においても、八戸赤十字病院と支部職員で編成した救護班やこころのケア班を派遣し、避難所の環境整備や巡回診療を行ったほか、災害医療コーディネートチームの派遣などの支援活動を実施しました。

現在は復旧・復興のフェーズに移行しておりますが、長期にわたる支援が必要であり、引き続き全社を挙げて支援に取り組んで参ります。

また、世界に目を向けると、今もなお続くウクライナとロシアの武力紛争、昨年10月に発生したイスラエルとガザの間での武力衝突があり、さらには、世界各地で地震、洪水、山火事、干ばつなどの自然災害が次々と発生しています。こうした様々な人道危機に対し、日本赤十字社としても国際赤十字活動の一員として支援活動を行っています。

これら国内外における活動は、赤十字の活動に心を寄せてくださる方々に支えられているものであり、そこには困難な状況にある人たちを助けたいというお気持ちが込められていることを改めて胸に刻みながら、「苦しんでいる人を救いたい」という思いのもと、赤十字活動を進めて参ります。

当支部としても、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命の下、「救うを託されている」組織の一員として、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を活かした活動を積極的に展開し、これまでの経験から学んだことを糧としながら、その時代ごとの社会課題やニーズに柔軟かつ巧みに対応し、今後も多くの県民の皆様から赤十字活動へのご賛同とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係者の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年5月

日本赤十字社青森県支部

支部長 宮下 宗一郎

目 次

巻頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	12
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	13
4. 赤十字奉仕団	15
5. 青少年赤十字	21
6. 国際活動	30
7. 社会福祉事業	32
8. 医療事業	34
9. 血液事業	36

II 活動資金募集と赤十字思想の普及

10. 活動資金の募集状況及び会員の現況	41
11. 赤十字思想の普及と広報活動	46
12. 青森県赤十字有功会	52

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	54
14. 令和5年度一般会計・特別会計決算報告	56
15. 支部役員・評議員	59

日本赤十字社長期ビジョン	60
--------------	----

日本赤十字社の組織と機構	61
--------------	----

日本赤十字社青森県支部現勢	62
---------------	----



1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。

当支部では、常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか、救護資材を整備し、救護体制を万全にするように努めている。

(1) 救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生した火災（火災災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品 名	数 量
毛 布	166
緊 急 セ ャ ッ ト	86

(救援物資の市町村別交付状況は、8、9 ページ参照)

(2) 国内災害義援金受付状況

区 分	受付件数(件)	受付金額(円)
令和5年5月能登地方地震災害義援金	25	169,108
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	23	125,504
令和5年6月30日からの大雨災害義援金	17	76,708
令和5年7月7日からの大雨災害義援金	44	451,319
令和5年台風第6号災害義援金	18	28,949
令和5年台風第13号災害義援金	15	57,801
令和6年能登半島地震災害義援金	695	40,916,969
合 計	837	41,826,358

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあたっている。当支部では八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センターの混成で1個班、計8個班を編成している。

令和5年度は、日赤本社の救護班編成基準（※）に基づいて、第1～7班は薬剤師、第8班は主事を加え、各班7人編成とした。

職 種 区 分	医 師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看 護 師 (人)	主 事 (人)	薬剤師 or 助産師 (人)	計 (人)
1 個班の編成基準(※)	1	1	2	2	(1)	6(7)
常備要員	8	8	16	17	7	56

② 各種訓練への参加状況

医療救護班等の訓練のため、次のとおり各種訓練に参加した。

- ・青森県原子力防災訓練（むつ市）
- ・青森市総合防災訓練
- ・八戸市総合防災訓練
- ・SCU設置運営訓練（青森市）
- ・青森県総合防災訓練（十和田市）
- ・日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練（石巻市）（担当：宮城県支部）

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、災害救護をめぐる概念や、方法論は目まぐるしく変化しており、特に災害発生直後において救出活動と連携して行われる医療活動（DMAT）との協働について、日本赤十字社においてもDMAT隊員を養成し取り組んでいるところである。当支部管内、八戸赤十字病院がDMAT指定医療機関としての指定を受け、現在3チームのDMATを派遣できるようになっている。

救護班員養成については、八戸赤十字病院主導のDMAT隊員養成への派遣はもとより、引き続き、本社、ブロック主催の全国救護班研修、支部、病院主催の救護班要員基礎・中級研修により、救護員、指導者の養成を継続実施している。

（4）災害救護装備について

県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、移動炊飯器の配置

当支部では、災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

令和5年度の日幕、担架、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主たる使用状況
天 幕	10	防災訓練、避難訓練 ほか
担 架	3	避難訓練
寝 台	1	防災訓練
移動炊飯器	28	奉仕団研修会、防災訓練 ほか

（天幕等の使用状況は、8、9ページ参照）

・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では、赤十字の理念とする「人道・博愛」の心について、赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

令和5年度の配置概要は以下のとおりである。

車両配置先	配置月日	配置車両
黒石市	3月5日	トヨタ ノアX 4WD
外ヶ浜町	3月8日	
弘前市	3月13日	
大間町	3月14日	

(「博愛号」の使用状況は、10、11ページ参照)



黒石市役所での配置の様子
レプリカキーを受け取る高樋地区長



外ヶ浜町役場での配置の様子
レプリカキーを受け取る山崎分区長



弘前市社会福祉センターでの配置の様子
レプリカキーを受け取る櫻田地区長

(5) 令和6年能登半島地震に対する青森県支部の対応

① 地震の概要（内閣府情報：令和6年5月8日14:00現在）（気象庁報道発表資料）

令和6年（2024年）1月1日16時10分、石川県能登地方においてマグニチュード7.6（暫定値）の地震が発生し、石川県の志賀町及び輪島市で震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6以上の揺れを観測した。

この地震に伴い石川県能登に大津波警報、青森県日本海沿岸を含む広い地域に津波警報、津波注意報が発令された。

② 被害の状況（消防庁情報：令和6年5月8日現在）

【人的被害】

地 域	石川県	その他	合 計
死 者	245名	0名	245名
行方不明者	3名	0名	3名
負 傷 者	1,196名	113名	1,309名

【住家被害】

地 域	石川県	その他	合 計
全 壊	8,248棟	349棟	8,597棟
半 壊	16,325棟	3,762棟	20,087棟
一 部 破 損	54,353棟	37,728棟	92,081棟
床 上 浸 水	6棟	0棟	6棟
床 下 浸 水	5棟	14棟	19棟

③ 日本赤十字社青森県支部の活動

ア 青森県支部救護体制

第一次救護体制を発令 令和6年1月4日（木）9:30

第一次救護体制を解除 令和6年3月26日（火）16:00

主な活動：救護班の派遣

災害医療コーディネートチームの派遣

こころのケア班の派遣

義援金募集

イ 活動詳細

・救護班の派遣

計4班、延べ36名の医療救護班を派遣し、避難所アセスメント、ダンボールベッドの設置、巡回診療等の活動を行った。

第1班（八戸赤十字病院職員7名、青森県支部職員2名）

活動期間：令和6年1月7日（日）～1月11日（木）

活動場所：石川県珠洲市

第2班（八戸赤十字病院職員7名、青森県支部職員2名）

活動期間：令和6年1月14日（日）～1月18日（木）

活動場所：石川県能登町

第3班（八戸赤十字病院職員7名、青森県支部職員2名）

活動期間：令和6年1月28日（日）～2月1日（木）

活動場所：石川県珠洲市

第4班（八戸赤十字病院職員7名、青森県支部職員2名）

活動期間：令和6年2月7日（水）～2月11日（日）

活動場所：石川県能登町

・災害医療コーディネートチームの派遣

1月24日（水）～2月5日（月）にかけて、八戸赤十字病院職員2名（医師1名、主事1名）による災害医療コーディネートチームを派遣。穴水町保健医療福祉調整本部にて救護班の活動調整等の活動を行った。

・こころのケア班の派遣

3月8日（金）～3月14日（木）に、八戸赤十字病院職員2名、青森県支部職員2名の計4名によるこころのケア班を派遣。七尾市役所にて、災害対応にあたる行政職員等に対するこころのケア活動を行った。



ブリーフィング中の救護班
（1月7日 日赤石川県支部）



倒壊した家屋の横を通過する救護班車両



避難所を訪問する救護班



ハンドマッサージを行うこころのケア班



避難所で活動する救護班の様子



ウ 義援金の受付

義援金名称：令和6年能登半島地震災害義援金

受付期間：令和6年1月4日（木）～令和6年12月27日（金）

受付額：40,916,969円（日赤青森県支部受付分 令和6年3月31日時点）

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項 目		支 部	八戸赤十字病院	計
車両		4	1	5
医療セット		0	2	2
携帯医療セット		1	0	1
テント	エアテント	2	1	3
	ドラッシュテント	3	1	4
	その他	10	1	11
担架		30	8	38
折畳寝台		30	5	35
担架兼用折畳寝台(ハコベルベッド)		2	0	2
発電機		9	2	11
エネルギー (1500W)		2	0	2
太陽光発電パネル		1	0	1
蓄電池 (小) (500W)		1	0	1
蓄電池 (タメルラボ2000N)		3	0	3
蓄電池 (タメルラボ6000N)		2	0	2
専用ソーラーパネルTLSSL-150		3	0	3
専用ソーラーパネルTLSSL-250		2	0	2
投光器		2	0	2
浄水機		1	0	1
衛星電話		2	4	6
災害時優先電話	固定電話	2	2	4
	携帯電話	3	20	23

令和5年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区 分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り 災 世帯数	被災 者数	火 災		風水害	毛布	緊 急 セ ッ ト	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
				全焼	半焼									
市	青 森 市													
	青 森 市	15	29	8	7	0	25	13	20,000	—	—	—	0	炊飯器 1 器
	青森市浪岡	1	5	1	0	0	5	2	0	0	0	—	1	炊飯器 1 器
	弘 前 市	13	26	7	4	0	25	14	5,000	0	—	—	2	炊飯器 4 器
	八 戸 市	17	24	6	4	0	22	12	10,000	—	—	—	2	炊飯器 2 器
	黒 石 市	3	6	3	0	0	5	3	5,000	0	—	—	1	炊飯器 1 器
	五所川原市													
	五所川原市	3	10	3	0	0	9	4	5,000	1	—	—	2	炊飯器 1 器
	五所川原市金木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1	炊飯器 1 器
	五所川原市市浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	炊飯器 1 器
	十 和 田 市	2	4	2	0	0	2	2	10,000	0	—	—	—	
	三 沢 市	2	5	2	0	0	5	2	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	む つ 市													
	む つ 市	1	2	1	0	0	2	1	0	0	—	—	0	炊飯器 2 器
	むつ市川内	1	3	1	0	0	3	1	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	むつ市大畑	3	13	2	1	0	12	4	0	—	—	—	—	
	むつ市脇野沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	炊飯器 1 器
	つ が る 市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—	1	炊飯器 5 器
	平 川 市	4	9	1	2	1	9	4	0	0	—	—	0	炊飯器 3 器
市 計		65	136	37	18	1	124	62	55,000	2	0	0	10	
東地区	平 内 町	2	2	2	0	0	0	0	10,000	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	外ヶ浜町	1	2	1	0	0	1	1	5,000	0	—	—	—	
	今 別 町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
	蓬 田 村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	炊飯器 1 器
西地区	鰺ヶ沢町	1	1	1	0	0	0	0	5,000	0	0	0	0	炊飯器 1 器
	深 浦 町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	—	—	4	炊飯器 2 器
中地区	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	板 柳 町	0	0	0	0	0	0	0	0	3	—	—	0	炊飯器 1 器
南地区	藤 崎 町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	1	炊飯器 3 器
	大 鰐 町	1	2	1	0	0	1	2	5,000	1	—	—	1	炊飯器 1 器
	田舎館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	2	炊飯器 1 器
北地区	中 泊 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1	炊飯器 1 器
	鶴 田 町	2	5	2	0	0	5	2	0	1	—	—	0	炊飯器 1 器

区 分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り災 世帯数	被災 者数	火災 全焼	火災 半焼	風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
上北地区	野辺地町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	七戸町	3	4	3	0	0	4	3	0	—	—	—	—	
	六戸町	3	9	3	0	0	5	3	20,000	1	—	—	0	炊飯器 2 器
	横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	東北町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	3	炊飯器 2 器
	六ヶ所村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	
下北地区	大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0	炊飯器 1 器
	東通村	1	6	1	0	0	6	2	0	1	1	0	1	炊飯器 2 器
	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1	炊飯器 1 器
	佐井村	2	3	1	1	0	3	2	10,000	0	—	—	0	炊飯器 2 器
三戸地区	三戸町	2	2	2	0	0	2	2	0	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	五戸町	2	5	2	0	0	5	2	0	—	—	—	—	
	田子町	1	2	1	0	0	2	1	0	—	—	—	0	炊飯器 1 器
	南部町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	4	炊飯器 3 器
	階上町	3	5	2	1	0	3	2	10,000	0	—	—	0	炊飯器 1 器
	新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	—	2	1	0	炊飯器 1 器
	おいらせ町	2	6	2	0	0	5	2	5,000	—	—	—	—	
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
町 村 計		26	54	24	2	0	42	24	70,000	8	3	1	18	
合 計		91	190	61	20	1	166	86	125,000	10	3	1	28	

令和5年度 災害救援物資の在庫状況

	毛布(枚)	緊急セット	安眠セット	タオルケット(枚)
支 部 在 庫	2,114	532	493	800
市町村分置	269	152	6	50
合 計	2,383	684	499	850

※令和6年3月31日現在

令和5年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
市	青 森 市				
	青 森 市	H29	4,038	32,353	
	青森市浪岡	—	—	—	H29 廃止
	弘 前 市	R 5	34	34	
	八 戸 市	R 3	3,210	5,887	
	黒 石 市	H17	6,477	126,784	
		R 5	276	276	
	五 所 川 原 市				
	五所川原市	H30	4,680	24,344	
	五所川原市金木	H14	1,443	153,544	
	五所川原市市浦	H15	1,611	134,224	
	十 和 田 市	R 4	7,341	9,684	
	三 沢 市	H17	3,107	118,047	
		R 元	3,044	21,125	
	む つ 市				
	む つ 市	R 4	529	4,575	
	むつ市川内	—	—	—	R 3 廃止
	むつ市大畑	H18	1,675	162,783	むつ市地区から移管
	むつ市脇野沢	H17	2,763	122,318	
	つ が る 市	H11	1,590	107,180	
	平 川 市	R 2	3,228	13,725	
市 計			45,046	1,036,883	
東地区	平 内 町	H29	6,811	47,262	
	外 ケ 浜 町	H16	5,551	133,548	
		R 5	176	176	
	今 別 町	H28	4,192	42,718	
西地区	蓬 田 村	R 元	6,353	24,944	
	鰯 ケ 沢 町	R 3	2,230	6,514	
	深 浦 町	H29	13,907	90,839	
中地区	西 目 屋 村	—	—	—	H25 廃止
	板 柳 町	H15	2,696	176,834	メーター交換有
		R 4	2,312	2,602	
南地区	藤 崎 町	R 元	5,573	22,408	
	大 鰐 町	R 3	3,757	9,171	
	田 舎 館 村	H30	3,736	14,001	
北地区	中 泊 町	H12	2,282	228,784	
		H28	3,641	43,703	
	鶴 田 町	H30	6,729	35,496	

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
上 北 地 区	野 辺 地 町	H20	3,294	82,460	
	七 戸 町	R 2	9,663	18,719	
	六 戸 町	H19	9,379	220,995	
	横 浜 町	H30	8,600	52,492	
	東 北 町	H17	4,623	99,691	
		R 3	9,066	16,628	
	六 ヶ 所 村	H29	9,643	73,628	
下 北 地 区	大 間 町	H19	3,287	139,324	R 5年度3月配置のため稼働なし
		R 5	0	0	
	東 通 村	H21	15,891	174,302	
	風 間 浦 村	R 2	7,845	16,035	
	佐 井 村	R元	13,602	48,845	
三 戸 地 区	三 戸 町	R 4	8,061	11,199	
	五 戸 町	H21	3,084	148,944	
	田 子 町	H28	2,637	38,844	
	南 部 町	H28	4,409	53,629	
	階 上 町	H20	4,623	110,632	
	新 郷 村	R 2	14,982	28,343	
	お い ら せ 町	H17	5,817	243,400	
		H18	7,266	140,245	
町 村 計			215,718	2,597,355	
合 計			260,764	3,634,238	



2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

令和5年度の学年別養成者は次のとおりである。

赤十字看護教育施設	学 年	人 数
日本赤十字秋田看護大学	1 年	2 名
	2 年	2 名
	3 年	1 名
	4 年	2 名
計	7 名	



3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

講習普及事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況や活動制限措置等に配慮しながら、一部実技の制限等を設け、以下のとおり講習普及を行った。

(1) 講習会実施状況

① 赤十字救急法

日常生活における事故の防止、手当の基本、心肺蘇生法等の講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
基礎講習	35	536	536	—
救急員養成講習	8	191	189	189
短期講習	122	5,532	—	—
計	165	6,259	725	189

② 赤十字水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
救助員Ⅰ養成講習	5	37	37	37
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
短期講習	25	2,528	—	—
(内)着衣泳講習会	(18)	(1,497)	—	—
計	30	2,565	37	37

③ 赤十字幼児安全法

子どもを社会全体で育むうえで、大切な自助・互助・共助・公助を踏まえて、子どもの命を守るために必要な接し方や、事故の予防・手当・看病の方法を学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	1	7	7	7
短期講習	22	325	—	—
計	23	332	7	7

④ 赤十字健康生活支援講習

健康寿命を延ばし、自身が健やかな高齢期を迎えるための介護や認知症の予防のほか、地域で高齢者を支援するときに役立つ知識や技術等について学ぶ講習を実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
支援員養成講習	1	2	2	2
短期講習	0	0	—	—
計	1	2	2	2

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。(令和6年3月31日現在)

区 分	赤十字職員		ボランティア (人)	合 計 (人)
	支部 (人)	施設 (人)		
救 急 法	10	17	67	94
水 上 安 全 法 I	1	0	6	7
水 上 安 全 法 II	0	1	22	23
幼 児 安 全 法	3	2	7	12
健康生活支援講習	0	1	2	3
雪 上 安 全 法	0	0	0	0

(3) 講習普及事業における特色ある事業

青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で実施されている「救急法コンクール」では、県内青少年赤十字メンバーによる救急法を用いた実技協議会が開催されている。当支部では、このコンクールに向けた講習の実施、出場チームへの指導、コンクール当日の審査などの支援協力を行っている。

令和5年度は、9校10チームが日頃の練習の成果を発揮し、競い合った。

第44回青森県高等学校総合文化祭 赤十字部門「救急法コンクール」

1. 月 日 令和5年10月28日(土)
2. 会 場 県立八戸西高等学校
3. 出場チーム 県立青森北高等学校、青森山田高等学校、青森明の星高等学校A、青森明の星高等学校B、県立木造高等学校、県立弘前高等学校、弘前東高等学校、県立七戸高等学校、県立八戸東高等学校、千葉学園高等学校

(4) 子育て支援等に関する連携協定(十和田市と令和4年8月23日締結)による講習の実施

令和5年度は、十和田市のファミリーサポートセンターの会員や放課後児童クラブ、保育士を対象に子どもの救命処置等の講習を実施した。(9回、114名)



石川小学校での救急法短期講習の様子



青森市ろうあ協会での救急法短期講習の様子



4. 赤十字奉仕団

県内の赤十字奉仕団は、各市町村に組織されている地域赤十字奉仕団と、支部直轄の青年・特殊赤十字奉仕団で組織され、総勢7,000名以上の団員で構成されている。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症による影響がほぼ見られなくなり、各地で研修活動が積極的に実施された。実施された研修会は、従来型の奉仕団単独で実施されたもののほか、町内会や社会福祉協議会等の他団体、地域のボランティアと連携した研修会を実施した奉仕団もあり、地域とのつながりをより意識した活動への取り組みが多く見られた。また、災害への備えと活動の強化を目的とした支部主催「合同防災研修会」には、14の地域奉仕団が参加。研修会の目標である近隣奉仕団による連携強化と一体感の醸成を図ることができた。

なお、令和5年度は下記のテーマ・方針のもと各種活動に取り組んだ。

(1) 赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動
——地域と連携し防災・減災を普及しよう——

(2) 赤十字奉仕団育成強化方針

赤十字奉仕団は、赤十字の基本理念である「人道」の実現を第一の使命として、戦後まもなく全国各地に結成され、身近な地域社会においてボランティア活動を実践することを目的とし、日本赤十字社を支える大きな力として赤十字事業の推進にあたってきた。

近年、地震や大雨、台風等の自然災害の多発化や被害の大規模化により、被災者支援ボランティアに寄せられる期待は高まっている。

一方、自助を基盤とした地域コミュニティの防災・減災への取り組みが重要視されており、その一環として、赤十字奉仕団としても平時から地域住民や行政、各種団体等との連携を図ることが求められている。

また、少子高齢化社会において、赤十字奉仕団として安定的かつ継続的な社会活動の推進や、より良い地域づくりのための一助となるべく、誰もが参加しやすいボランティア環境を整備する必要がある。

これまで培ってきた知識や経験、赤十字の強みである組織力を十分に生かし、社会のニーズを反映した主体的で積極的な奉仕団活動の促進と、災害時における連携強化を図っていく。

(3) 赤十字奉仕団重点施策

1. 災害への備えと活動の強化
2. 地域との連携と他団体や奉仕団相互との協働の推進
3. 地域のニーズに即した主体的で積極的な赤十字奉仕団活動の促進
4. 赤十字奉仕団員の意識向上やスキルアップのための研修の充実・強化
5. 広報活動の充実・強化
6. 赤十字会員増強・活動資金増収運動への協力

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（令和6年3月31日現在）

① 令和5年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地域奉仕団	46	199	1,124	5,498	6,622
青年奉仕団	4	0	61	141	202
特殊奉仕団	9	25	348	288	636
合 計	59	224	1,533	5,927	7,460

② 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
令和5年度	59	224	1,533	5,927	7,460	
令和4年度	60	229	1,526	6,065	7,591	
令和3年度	59	237	1,522	6,206	7,728	
令和2年度	59	245	1,738	7,594	9,332	



合同防災研修会で防災士と救急法を実施するむつ市赤十字奉仕団員、大畑分区赤十字奉仕団員、東通村赤十字奉仕団員



合同防災研修会でテント設営訓練を実施する五所川原市赤十字奉仕団員と市浦赤十字奉仕団員



地域住民と一緒にダンボールベッド組立て体験を実施する金木町赤十字奉仕団員



青森市内で清掃活動を実施する青森市赤十字奉仕団と青森県青少年赤十字賛助奉仕団

(5) 赤十字奉仕団組織現況（令和6年3月31日現在）

① 地域奉仕団

令和6年3月31日 現在

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
市	青 森 市	S 33. 9. 9	内 海 貞 子	3	0	6	74	80	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分区	S 34. 9. 30	小 倉 保 英	0	0	20	117	137	民生委員 保健協力員
	弘 前 市	H 20. 4. 1	小 柳 紀八郎	14	69	191	780	971	婦人有志 町会有志
	黒 石 市	S 33. 5. 20	北 山 リ ッ	2	6	0	47	47	連合婦人会
	五所川原市	S 33. 9. 15	小 野 慶 子	6	4	0	368	368	連合婦人会 市民有志
	金 木 町	S 50. 3. 27	外 崎 れい子	5	0	0	152	152	連合婦人会
	市 浦	S 51. 4. 30	三 浦 つや子	5	33	0	59	59	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H 17. 1. 1	畑 中 チ ヨ	9	23	148	171	319	婦人・町内有志
	三 沢 市	S 50. 7. 12	沼 田 弘 子	3	0	3	87	90	婦人有志・市民有志
	む つ 市	S 49. 3. 30	森 小 静 子	5	0	15	50	65	町会有志 婦人会
	むつ市川内	S 50. 2. 1	石 倉 司	0	8	2	160	162	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S 50. 6. 28	濱 田 順 子	8	0	0	104	104	連合婦人会
	むつ市大畑分区	S 50. 3. 24	伝 法 百合子	6	0	2	104	106	連合婦人会他
	つ が る 市	H 18. 4. 1	吉 田 博 身	5	15	81	304	385	民生委員 婦人会 行政連絡員
	平川市平賀	S 52. 1. 27	小笠原 勝 則	5	0	27	98	125	ボランティアグループ
	平川市尾上	S 33. 9. 19	西 谷 桂 子	2	0	0	19	19	連合婦人会
計 16団				78	158	495	2,694	3,189	
東地区	平 内 町	S 48. 10. 9	三津谷 志津子	3	11	0	90	90	婦人会
	外ヶ浜町	H 17. 4. 1	高 森 キクエ	3	16	32	278	310	婦人会 町内有志
	今 別 町	S 33. 9. 5	阿 部 和 江	7	0	0	56	56	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬 田 村	S 38. 9. 23	小 野 富美子	3	0	0	39	39	連合婦人会 婦人有志
	計 4団			16	27	32	463	495	
西地区	鯡ヶ沢町	S 53. 8. 11	尾 崎 陸 男	6	31	27	179	206	民生委員 町内有志 婦人会
	深 浦 町	H 18. 4. 1	堀 内 カ ッ	9	0	11	148	159	民生委員 連合婦人会
	計 2団			15	31	38	327	365	
中南地区	西目屋村	S 53. 6. 28	三 上 文 子	3	0	1	31	32	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板 柳 町	S 51. 11. 30	米 澤 ノブ子	0	0	0	22	22	婦人・町内有志
	藤 崎 町	H 18. 4. 1	神 ノブ子	2	13	0	108	108	婦人会
	大 鰐 町	S 36. 10. 13	田 中 あ ゑ	0	0	0	38	38	婦人有志
	田舎館村	S 51. 8. 9	工 藤 泰 子	0	0	10	73	83	民生委員 保健協力員
	計 5団			5	13	11	272	283	
北地区	鶴 田 町	S 49. 4. 1	宮 本 弘 子	2	0	0	23	23	婦人会
	中泊町分区中里	S 53. 9. 1	川 島 久 幸	3	0	5	86	91	民生委員、婦人会
	中泊町分区小泊	S 36. 10. 13	秋 元 英 子	3	0	6	85	91	婦人会 村内有志
	計 3団			8	0	11	194	205	

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野 辺 地 町	S33. 9. 1	太 田 富 江	4	0	0	54	54	連合婦人会
	七 戸 町	H21. 4. 1	盛 田 恵津子	2	14	0	61	61	民生委員 更生保護女性会 手話サークル 婦人有志
	横 浜 町	S50. 2. 14	竹 田 礼 子	3	0	5	44	49	民生委員 ボランティアグループ
	東 北 町	H17. 12. 15	原 子 スワ子	0	0	0	36	36	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S51. 12. 24	葛 西 奈栄子	0	0	5	106	111	子供会世話人 青年・婦人会有志
	計 5団			9	14	10	301	311	
下北地区	大 間 町	S52. 2. 10	泉 晃	2	0	0	83	83	婦人会
	東 通 村	S51. 7. 5	伊 藤 貢 子	6	0	0	80	80	連合婦人会
	風間浦村	S53. 1. 28	原 子 恒 子	4	0	0	64	64	連合婦人会
	佐 井 村	S36. 10. 13	内 藤 要	15	0	158	200	358	婦人会有志 他
	計 4団			27	0	158	427	585	
三戸地区	三 戸 町	S49. 9. 7	田 中 愛一郎	2	0	21	53	74	民生委員 婦人会
	五 戸 町	H16. 7. 1	川 崎 由希子	9	0	1	161	162	連合婦人会
	田 子 町	S50. 7. 21	川 村 武 司	4	54	296	178	474	老人クラブ 自治会 婦人会 民生委員
	南 部 町	H18. 4. 1	掛 端 麻美子	11	7	27	179	206	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階 上 町	S36. 10. 13	山 内 良 子	3	13	1	47	48	有志
	新 郷 村	S50. 2. 27	長 野 良 子	4	0	0	43	43	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18. 4. 1	徳 永 幸 雄	8	0	23	159	182	民生委員 老人クラブ 有志
	計 7団			41	74	369	820	1,189	
合計 46団			199	317	1,124	5,498	6,622		

※地域奉仕団の地区区分は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいている板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。



県ふれあい活動功労者知事表彰
(左から2番目水上安全法奉仕団委員長、右から2番目点訳・音訳・デイジー編集赤十字奉仕団委員長)



ハイゼックス袋を使用した炊出しを実施する木浪学園赤十字ボランティア

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計
青年奉仕団	平賀（休団）	S41. 2. 14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0
	佐井村	S56. 4. 1	田 中 伸 弥	0	0	22	11	33
	木浪学園赤十字ボランティア	H25. 6. 25	松 尾 桃 葉	0	0	28	118	146
	青森県立保健大学めいと	R 4. 10. 2	上 原 咲 和	0	0	11	12	23
	計 4団			0	0	61	141	202
特殊奉仕団	点訳・音訳・デイジー編集	S44. 1. 19	中 井 睦	7	6	14	156	170
	水上安全法	S37. 7. 25	江 良 直 志	0	0	14	18	32
	救急法	S44. 11. 12	西 村 芳 樹	5	0	51	33	84
	アマチュア無線	S47. 5. 21	佐 藤 眸	7	0	93	1	94
	碇ヶ関家庭看護法	S52. 3. 8	大 川 富 子	0	0	2	18	20
	黒石市家庭看護法	S57. 3. 1	高 橋 チ ヨ	0	0	0	18	18
	岩木山パトロール隊	S59. 4. 29	一 戸 繁 輝	0	0	48	2	50
	支部家庭看護法	S61. 11. 18	山 本 初 枝	0	0	0	10	10
	青森県青少年赤十字賛助	H14. 7. 25	佐 藤 光 則	6	0	126	32	158
	計 9団			25	6	348	288	636

総計	団数	分団数	班数	男	女	合計
	59	224	323	1,533	5,927	7,460

（6）令和5年度赤十字奉仕団支部委員会名簿

役 職	氏 名	所属奉仕団
委 員 長	沼 田 弘 子	三沢市赤十字奉仕団委員長
副委員長	小 野 慶 子	五所川原市赤十字奉仕団委員長
副委員長	森 小 静 子	むつ市赤十字奉仕団委員長

（7）令和5年度赤十字奉仕団指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	工 藤 耕 弘	湯 沢 富 雄
西 北 五 地 区	小田川 修 三	野 呂 良 悦
中弘南黒地区	山 本 仁 志	
上 十 三 地 区	天 内 不 二 子	
むつ下北地区	吉 田 寛	二本柳 卓
三 八 地 区	中 村 正	

令和5年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

実施日		行 事 名	開催場所	対 象
4	7日(金)	赤十字奉仕団指導講師会議	支部	指導講師
	12日(水)	赤十字奉仕団支部委員会 (県下委員長会議)	リンクステーションホール青森	奉仕団委員長
5	18日(木)	全国赤十字大会	明治神宮会館	奉仕団員等
	19日(金)	郡市地区・町村分区事務担当者研修会	オンライン会議	郡市地区・町村分区担当者
6	1日(木)～ 2日(金)	赤十字奉仕団中央委員会	日赤本社	沼田委員長
	30日(金)	赤十字奉仕団基礎研修会	リンクステーションホール青森	赤十字奉仕団員
7	5日(水)	支部赤十字奉仕団担当者会議	オンライン研修会	支部職員
	24日(月)	西北地区委員長事務担当者会議	ホテサンルート五所川原	委員長、事務担当者
	28日(金)	赤十字奉仕団等ボランティアにかか るプロジェクト型活動研修会	オンライン会議	支部職員、指導講師
8	19日(土)	青年赤十字奉仕団第1B協議会	オンライン会議	青年奉仕団 全国協議会委員
	28日(月)	上北地区委員長事務担当者会議	サン・ロイヤルとわだ	委員長、事務担当者
	26日(土)～ 28日(月)	赤十字ボランティア・リーダー研修会	日赤本社	奉仕団員
9	1日(金)	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	リンクステーションホール青森	各委員長、団員 地区・分区担当者
	22日(金)	東青地区活動研究会	外ヶ浜町中央公民館	各委員長、団員 地区・分区担当者
	29日(金)	中南地区委員長事務担当者会議	弘前パークホテル	委員長、事務担当者
10	6日(金)	西北地区活動研究会	鯉ヶ沢町山村開発センター	各委員長、団員 地区・分区担当者
	11日(水)	三八地区委員長事務担当者会議	ユートリー八戸	各委員長、団員 地区・分区担当者
	23日(月)	赤十字奉仕団等ボランティアにかか るプロジェクト型活動研修会	オンライン会議	支部職員、指導講師
	27日(金)	むつ下北地区委員長事務担当者会議	むつ合同庁舎	委員長、事務担当者
11	1日(水)	東青地区委員長事務担当者会議	支部	委員長、事務担当者
	8日(水)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (むつ市・むつ市大畑・東通村)	下北文化会館	奉仕団員
	10日(金)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (五所川原市・市浦)	コミュニティーセンター長橋	奉仕団員
	14日(火)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (十和田市・三沢市・六戸町)	三沢市総合社会福祉センター	奉仕団員
	16日(木)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (むつ市脇野沢・むつ市川内)	脇野沢地域交流センター	奉仕団員
	17日(金)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (板柳町・西目屋村)	板柳町コミュニティーセンター	奉仕団員
	17日(金)	上十三地区地区活動研究会	横浜町ふれあいセンター	各委員長、団員 地区・分区担当者
12	1日(金)～ 25日(月)	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉	関係者
	8日(金)	赤十字奉仕団合同防災研修会 (七戸町・東北町)	七戸中央公民館	奉仕団員
1	26日(金)～ 28日(日)	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	日赤本社	湯沢指導講師
2	1日(木)～ 29日(木)	赤十字会員増強・活動資金増強運動 月間	県内一斉	関係者
	22日(木)	赤十字奉仕団強化推進会議	支部	支部委員会役員 指導講師
	23日(金)	青年赤十字奉仕団全国協議会	オンライン会議	青年奉仕団 全国協議会委員



5. 青少年赤十字

青少年赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中で、望ましい人格と精神を自らつくりあげることが目的とした事業であり、教師等を指導者として、幼稚園・保育所（園）、小・中・高等学校、特別支援学校の中に組織され、「気づき、考え、実行する」という態度目標に基づき、学校・幼児教育の中で進められている。

令和5年度においては344の施設・学校から総数30,394名のメンバーが登録した。新型コロナウイルスが5類となったこともあり、県内各地区の多くが作品展、集い交流会などの活動を再開した。青森県支部主催行事においても、冬期に開催している「青少年赤十字高校リーダー研修会」を初日にオンライン形式、2日目と3日目を宿泊形式で開催することができた。



中弘南黒地区青少年赤十字の集い



西北五地区こども赤十字交流会



むつ下北地区青少年赤十字の集い



県支部主催青少年赤十字高校リーダー研修会

(1) 令和5年度青少年赤十字加盟登録状況（令和6年3月31日現在）

① 加盟施設・学校数

区 分	加盟校数	加盟校数内訳		学級 グループ数	登録人員数		
		継続加盟	新規加盟		男	女	計
幼稚園	29	29	0	109	767	739	1,506
保育所(園)	146	145	1	560	3,477	3,407	6,884
小学校	85	82	3	706	7,014	6,694	13,708
中学校	41	40	1	285	3,695	3,618	7,313
高等学校	41	41	0	41	273	483	756
特別支援学校	2	1	1	53	157	70	227
計	344	338	6	1,754	15,383	15,011	30,394

※ 指導者数 3,903人

② 加盟状況

幼稚園			
継 続 加 盟	29	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	0		
保育所（園）			
継 続 加 盟	145	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	1	おおぼし保育園（青森市）	
統 廃 合	0		
小学校			
継 続 加 盟	82	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	3	牛滝小学校（佐井村）／白銀小学校（八戸市）／倉石小学校（五戸町）	
統 廃 合	11	松陽小学校（十和田市）／清水頭小学校（田子町）／上郷小学校（田子町）／ 剣吉小学校（南部町）／名久井小学校（南部町）／名川南小学校（南部町）／ 向小学校（南部町）／南部小学校（南部町）／福地小学校（南部町）／ 福田小学校（南部町）／杉沢小学校（南部町）	
中学校			
継 続 加 盟	40	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	1	蟹田中学校（外ヶ浜町）	
統 廃 合	1	杉沢中学校（南部町）	
高等学校			
継 続 加 盟	41	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	0		
統 廃 合	3	金木高校（五所川原市金木）／木造高校深浦校舎（深浦町）／鶴田高校（鶴田町）	
特別支援学校			
継 続 加 盟	1	別紙 一覧表のとおり	
新 規 登 録	1	弘前第一養護学校（弘前市）	
統 廃 合	0		

③ 令和５年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

令和６年３月31日現在

東青地区							西北五地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 野内	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木	1 五所川原商業	
	2 青中短2	2 幸畑	2 高田	2 佃	2 東奥学園					2 三好	2 市浦	2 五所川原	
	3 青中短3	3 千富	3 荒川	3 荒川	3 青森中央					3 三輪			
	4 油川	4 佃	4 浪岡北	4 東	4 青森北					4 東峰			
	5 東奥	5 泉川	5 浪岡南	5 西	5 明の星					5 栄			
	6 あすなろ	6 あおもりみなみこども園	6 本郷	6 浪岡	6 青森東					6 金木			
		7 若芽		7 筒井	7 青森					7 松島			
		8 戸山			8 青森南					8 いずみ			
		9 青森東こども園			9 青森工業					9 南			
		10 あかしや			10 青森山田		つがる市		1 いなほ	1 柏	1 森田	1 木造	
		11 浪岡若葉こども園			11 浪岡				2 菰植	2 穂波	2 車力		
		12 しらゆり			12 北斗				3 しげた				
		13 こども園瑞穂			13 青森商業				4 もりた				
		14 合浦保							5 かしわこども園				
		15 ゆうゆうきっず青森							6 かしわあつふるこども園				
		16 青森甲田こども園					鯉ヶ沢町			1 西海			
		17 青森山田こども園											
		18 青森認定こども園											
		19 戸山分園クレヨン館					深浦町		1 みはる	1 いわさき	1 大戸瀬		
		20 おおぼし保育園							2 みよし	2 修道			
									3 えの木				
平内町	1 山彦	1 東和	1 山口				板柳町			1 板柳北			
		2 小湊	2 小湊										
		3 口広	3 東										
		4 山彦					中泊町	1 中里こども園		1 小泊			
		5 青空											
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 三厩									
				2 蟹田			鶴田町						
今別町		1 今別こども園							1 水元				
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田										
校種別計	8	27	10	9	13	1	校種別計	2	11	16	5	3	0
地区合計	68						地区合計	37					

中弘南黒地区							上十三地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
弘前市		1 高杉	1 石川	1 石川	1 弘前中央	1 弘前第一養護	十和田市	1 さつき	1 十和田めぐみ	1 藤坂		1 三本木農業	
		2 やまぶき	2 東目屋	2 津軽	2 東奥義塾				2 きく	2 高清水			
		3 青女子	3 第三大成	3 新和	3 弘前実業				3 緑と太陽				
		4 大開	4 三省	4 第一	4 弘前工業				4 みきの				
		5 ふじこども園	5 東	5 第二	5 柴田学園								
		6 弘前すみれ	6 文京	6 第三	6 弘前南		三沢市	1 いちい	1 チャリティー第1	1 三川目			
		7 こどもの城	7 城東	7 第四	7 弘前				2 チャリティー第2				
		8 城東	8 致遠	8 第五	8 弘前東		野辺地町					1 野辺地	
		9 ふたば	9 新和	9 裾野									
		10 サンこども園	10 小沢	10 相馬			七戸町						
			11 大和沢	11 北辰					1 榎林こども園			1 七戸	
			12 豊田	12 南					2 道ノ上こども園				
			13 大成				おいらせ町						
			14 朝陽						1 錦ヶ丘				
			15 北						2 あゆみ				
			16 福村						3 川口				
			17 こどもの館						4 下田こども園				
			18 子供の城						5 本村こども園				
			19 桔梗野				六戸町		6 深沢				
			20 西						1 ひのでこども	1 大曲	1 七百		
			21 青柳				横浜町		2 こども園おひさま	2 開知			
			22 岩木										
			23 自得				東北町		1 中央ポブラ				
									2 水喰				
									3 ポブラ				
									4 乙供文化				
西目屋村			1 西目屋				六ヶ所村						
黒石市		1 中郷こども園			1 黒石				1 千歳平こども園	1 千歳平		1 六ヶ所	
		2 美郷こども園							2 泊こども園				
平川市		1 大坊こども園		1 平賀西									
		2 平賀あすなろ											
藤崎町			1 常盤	1 藤崎									
			2 藤崎	2 明德									
			3 藤崎中央										
大鰐町	1 おおわに文化												
田舎館村			1 田舎館										
校種別計	1	14	28	15	9	1	校種別計	2	22	6	1	4	0
地区合計			68				地区合計			35			

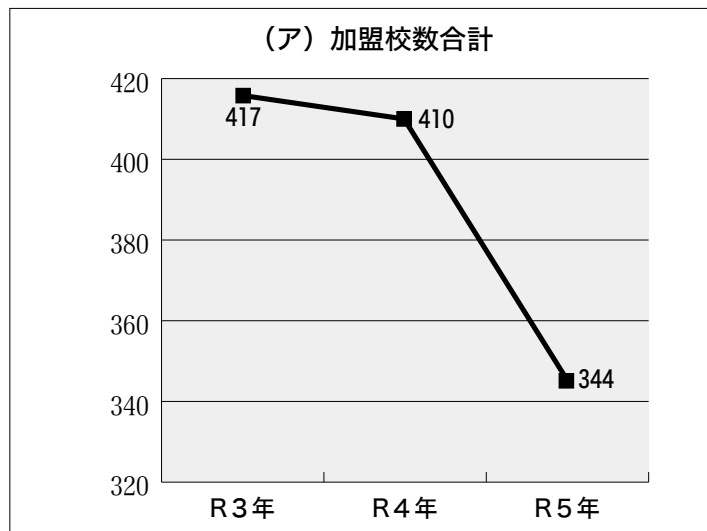
むつ下北地区							三八地区						
市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
むつ市	1 あたご	1 エビナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 南売市	1 多賀	1 千葉学園	
	2 むつひまわり	2 大畑中央	2 正津川		2 田名部			2 かもめ	2 こざくら	27 おおくきこども園	2 吹上	2 八戸東	
	3 星美	3 柳町ひまわり	3 関根		3 大湊			3 こもれびの森	3 浜市川	28 ひまわり	3 新井田	3 八戸西	
		4 小川第二百合	4 奥内					4 高館	4 轟木	29 こどもの城	4 島守	4 八戸商業	
		5 よしの	5 大畑					5 長者	5 さめ	30 白山台	5 桔梗野	5 八戸	
		6 大平						6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 うぐいす	6 白銀	6 八戸工業	
		7 近川						7 八戸学院	7 すみれ	32 太陽と海の子		7 八工大一高	
		8 並木						8 第二しのめ	8 テレジア	33 下長こども園		8 向陵	
		9 白百合						9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 しみず		9 八戸学院光星	
		10 ゆきのこ							10 岬台	35 白鷗			
		11 海の子							11 多賀台	36 類家			
		12 あすなろ							12 大杉平	37 河原本中央			
		13 苦生ひまわり							13 中居林こども園	38 桐の葉			
大間町	1 大間	1 うみの子	1 奥戸	1 大間					14 虹の丘	39 明星こども園			
		2 大間	2 大間						15 三条	40 サンフラワー			
東通村			1 東通	1 東通					16 みどりかぜエドナレ	41 むつみ			
風間浦村		1 風間浦							17 エンゼル子どもの家	42 ほりりん			
佐井村		1 佐井村	1 佐井	1 佐井					18 尻内	43 貴福			
			2 牛滝						19 根城こども園	44 是川			
									20 木の実園	45 こぼと			
									21 三島	46 旭ヶ丘			
									22 すぎのこ	47 新井田こども園			
									23 みどりかぜ北ウイング	48 小久保			
									24 湊	49 第二さえずりの森			
									25 藤覚				
							三戸町		1 ミューズ				
							五戸町	1 江渡	1 めぐみ	1 五戸	1 五戸		
										2 上市川	2 倉石		
										3 切谷内			
							田子町			4 倉石			
								1 田子		1 田子	1 田子		
							南部町	1 あかね	1 福地		1 南部		
											2 福地		
											3 名川		
							階上町	1 石鉢	1 石鉢	1 階上			
								2 階上	2 階上				
								3 道仏	3 赤保内				
									4 道仏				
校種別計	4	17	10	4	3	0	校種別計	12	55	15	7	9	0
地区合計	38						地区合計	98					

県 計	幼稚園	保育園（所）	小学校	中学校	高等学校	特別支援
令和5年度末計	29	146	85	41	41	2
総 計	344	※令和4年度末加盟校数 410校 △66校				

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

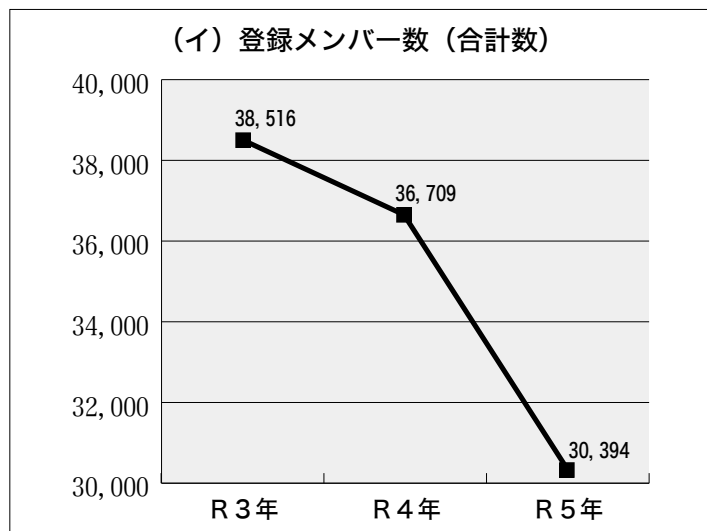
(ア) 加盟校数合計

年度	学校数
R 5 年	344
R 4 年	410
R 3 年	417



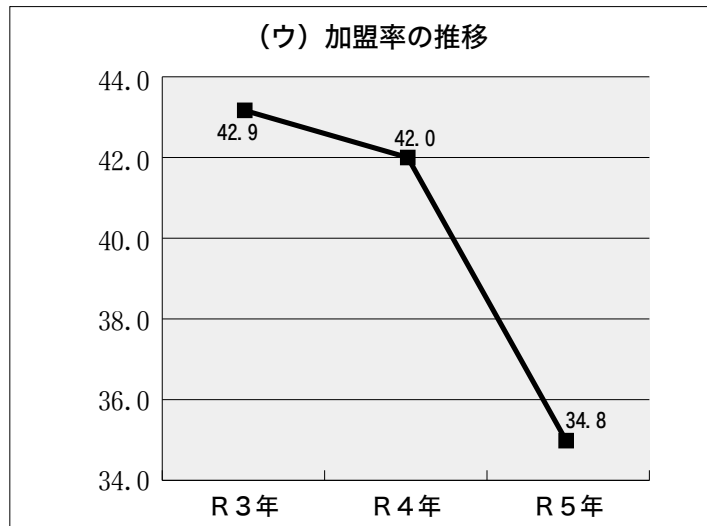
(イ) 登録メンバー数合計

年度	登録メンバー数
R 5 年	30,394
R 4 年	36,709
R 3 年	38,516



(ウ) 加盟率の推移 ※幼保を除く

年度	加盟率
R 5 年	34.8
R 4 年	42.0
R 3 年	42.9



(2) 青少年赤十字関連研修会・会議開催状況

① 本社主催研修会・会議

名 称	開催月日	開催場所	参 加 者
全国賛助奉仕団協議会 第1回役員会・総会	7月10日(月) ～ 7月12日(水)	日本赤十字社本社	賛助奉仕団委員長1名
青少年赤十字国際交流集会	11月23日(木) ～ 11月26日(日)	国立オリンピック 記念青少年総 合センター	高校生メンバー1名 指導者1名
青少年赤十字研究会	1月12日(金)	日本赤十字社本社	指導主事1名
スタディー・センター	3月22日(金) ～ 3月26日(火)	東照館(山梨県)	高校生メンバー2名

② ブロック(担当支部)主催研修会・会議

名 称	開催月日	担当支部	参 加 者
第1B支部管内高等学校 青少年赤十字交流会	9月30日(土) ～ 10月1日(日)	福島県支部	高校生メンバー5名 指導者1名 支部職員1名
第1B指導者研究会	10月3日(火) ～ 10月4日(水)	秋田県支部	指導者1名

③ 支部主催研修会・会議

名 称	開催月日	開催場所 (開催形式等)	参 加 者
指導講師会議	4月13日(木)	日本赤十字社 青森県支部	青少年赤十字指導講師9名
県指導者協議会理事会・ 指導主事等対象研修会	7月11日(火)	日本赤十字社 青森県支部	県青少年赤十字指導者協議会 役員指導主事
青少年赤十字高校 リーダーシップ・ トレーニングプログラム	8月3日(木) ～ 8月4日(金)	オンライン形式 (3日) 青森県共同ビル (4日)	高校生メンバー82名参加 指導者養成8名参加 指導スタッフ6名参加
青少年赤十字高校 リーダー研修会	1月5日(金) ～ 1月7日(日)	県立梵珠少年 自然の家	高校生メンバー22名参加 アシスタントメンバー5名参加 指導スタッフ6名参加

④ 関係機関・団体の行事

名 称	開催月日	開催場所	参 加 者
県賛助奉仕団総会	6月9日(金)	アピオあおもり	県賛助奉仕団員 県指導者協議会会長1名 支部職員2名
高総文青少年赤十字 部門大会（三八・上北大会）	10月28日(土)	県立八戸西高等学校	支部職員5名 赤十字救急法指導員11名

(3) 令和5年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員

役 職 名	氏 名	所 属 校 (施 設)
会 長	三 橋 一 晃	五所川原市立南小学校長
副会長(幼・保)	田 頭 正 嗣	高館幼稚園長
副 会 長 (小)	三 上 菜穂子	十和田市立藤坂小学校長
副 会 長 (中)	—	—
副 会 長 (高)	鈴 木 崇	県立八戸中央高等学校長

(4) 令和5年度青少年赤十字指導講師

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	工 藤 耕 弘
西 北 五 地 区	近 藤 徹	鶴 賀 一 昭
中弘南黒地区	田 中 均	多 田 健 司
上 十 三 地 区	丸 井 英 子	川 崎 守
むつ下北地区	沢 田 要 一	中 村 聡
三 八 地 区	中 村 正	
高等学校担当	瀧 本 ひろみ	

令和5年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

県役員	事項／地区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む っ 下 北		三 八	
	所 属／氏 名		氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
会長・三橋 一晃 副会長・田頭 正嗣 三上菜穂子 鈴木 崇	理事	会 長	浅利 徳幸	本郷小	三橋 一晃	南小	森 尚生	津軽中	三上菜穂子	藤坂小	山本 敦	佐井小	小野 隆雄	道仏小
		副 会 長	蛭名 将之 木立 啓司 鎌田 康夫 久保田千夏	あおりみなみこども園 小湊小 東中 青森南高	大沢 潤蔵 小島 史靖 (なし) 下山 敦史	えの木保 修道小 木造高	奈良岡秀紀 岩木小 明徳中 齋藤 郁子	ふたば保 岩木小 弘前中央高	山内 豪士 増尾安希子 松木 信嘉 中村 豊	きく保 高清水小 七百中 三本木農業恵拓高	笹原 芳彦 長根 朋子 工藤 秀吾 千葉 栄美	並木保 奥内小 佐井中 大湊高	田頭 正嗣 川村 洋 山田 昇 坪 宏至	高館幼 吹上小 赤保内小 八戸西高
	専門委員	幼 児 部 会	小泉 隆人 蝦名 崇子 石村 康弘	幸畑保 山彦幼 しらゆり保	(なし)		三浦 テツ 中村 得仁 小笠原勝則 齋藤千都子	城東保 やまぶき保 平賀あすなろ保 弘前すみれ保	長嶺 寿子 古田 秀子 熊野 博文 蛭澤 正雄	ひのでこども園 いちい幼 川口保 中央ボブラ保	笹原 芳彦 中野 正子 品木扶美子 斉藤 典子	並木保 並木保 ゆきのこ保 エビナ保	小澤 一雅 田村 元 須川真也子 植村 宗和	すみれ保 長者幼 テレビア保 いちのさわ保
		小 学 校 部 会	福士 竜也 中屋久美子 浅利 徳幸	浪岡南小 山口小 本郷小	松山 伸 外崎 淳郎 鈴木あゆみ	板柳南小 三輪小 東峰小	庭田 瑞穂 齋藤真貴子 佐藤 遥	西目屋小 田舎館小 岩木小	増尾安希子 江渡 勇 内海 浩幸	高清水小 三川目小 開知小	長根 朋子 奥木香奈子 畑中 千光 西村 裕	奥内小 佐井小 関根小 正津川小	谷川千佳子	道仏小
		中 学 校 部 会	山田 大介 目時 聖児 櫻井 裕輝 三橋 信子 葛西 富生	筒井中 三厩中 浪岡中 戸山中 北中	(なし)		横山 晴彦 神 浩彦 幸山 一成 石岡 卓彦	第一中 第一中 第五中 第四中	松木 信嘉	七百中	工藤 秀吾 西村 一牧 二階 幸喜 佐藤 雅布	佐井中 佐井中 東通中 脇野沢中	佐々木 亨 長尾 祐子	福地中 田子中
		高 校 部 会	平山 のぶ 葛原 香織 石塚 智美 安江 道子	青森中央高 青森山田高 東奥学園高 青森東高	鈴木 則子 外崎 恵子 相馬 与乃	木造高 木造高 五所川原商業高	島村 千景 水木 禎人 木村 智子	弘前実業高 弘前中央高 弘前南高	上篠 洋子 玉館香奈子 戸来 温	三本木農業恵拓高 七戸高 六ヶ所高	千葉 栄美 小原 舞子 傳法 宏美 葛西 歩美	大湊高 大湊高 むつ工業高 田名部高	三浦 泰子	千葉学園高
	地区指導者	事 務 局 長	和田可矢毅	本郷小	三橋 一晃	五所川原南小	成田 一志	津軽中	三沢 正幸	藤坂小	奥木香奈子	佐井小	船渡 寿子	道仏小
		局 員	川村 浩	本郷小	石岡 春菜	五所川原南小	外崎 靖生 角田奈央子	津軽中 津軽中	野坂 洋一 早川 直美 中尾 昌子 坂本 親子	藤坂小 藤坂小 藤坂小 藤坂小	小原 舞子 中野 正子	大湊高 並木保	中村 俊康 佐々木 亨	吹上小 福地中
		所 在	〒038-1323 青森市浪岡本郷字一本柳4 青森市立本郷小学校内 TEL0172(62)3052Fax0172(62)3053		〒037-0043 五所川原市字蓮沼2 五所川原市立南小学校内 TEL0173(34)3665Fax0173(34)3677		〒036-1331 弘前市五代早稲田478 弘前市立津軽中学校内 TEL0172(82)3004Fax0172(82)3034		〒034-0041 十和田市相坂字小林355-1 十和田市立藤坂小学校内 TEL0176(23)2222Fax0176(23)2473		〒039-4711 佐井村佐井字糠森103の3 佐井村立佐井小学校内 TEL0175(38)2262Fax0175(38)4455		〒039-0612 三戸郡階上町道仏字外窪21の1 階上町立道仏小学校内 TEL0178(89)2015Fax0178(89)2882	
	地区事務局児	部 会 長	蛭名 将之	あおりみなみこども園	大沢 潤蔵	えの木保	奈良岡秀紀	ふたば保	山内 豪士	きく保	笹原 芳彦	並木保	田頭 正嗣	高館幼
		事 務 局 長	鎌田 昭子	青森甲田こども園	神 咲子	えの木保	山内 仁美	おおわに文化幼	山内 幸子	きく保	中野 正子	並木保	原田 輝子	みどりの風北ウイング
		事 務 局 員	我妻真智子	青森甲田こども園			湯瀬 高央	美郷こども園			品木扶美子	ゆきのこ保	岩崎加奈子	ミュージズ保
		所 在	〒030-0855 青森市北金沢2丁目1番地6 青森甲田こども園内 TEL017(776)8680Fax017(718)3884		〒038-2325 西津軽郡深浦町横磯下岡崎89-5 えの木保育園内 TEL0173(74)3431Fax0173(74)3451		〒038-0211 南津軽郡大鰐町大鰐前田15-1 おおわに文化幼稚園内 TEL0172(49)1122Fax0172(49)1122		〒034-0038 十和田市西十四番町6-3 並木保育園内 TEL0176(23)9066Fax0176(23)9066		〒035-0046 むつ市南町9-36 並木保育園内 TEL0175(22)6500Fax0175(22)7322		〒039-1113 八戸市西白山台4-1-16 みどりのかぜ北ウイング内 TEL0178(27)3311Fax0178(27)3312	
	地区事務局校	部 会 長	久保田千夏	青森南高	下山 敦史	木造高	齋藤 郁子	弘前中央高	中村 豊	三本木農業恵拓高	千葉 栄美	大湊高	坪 宏至	八戸西高
		事 務 局 長	川崎 陽子	青森南高	鈴木 則子	木造高	水木 禎人	弘前中央高	上篠 洋子	三本木農業恵拓高	小原 舞子	大湊高	富田 陽子	八戸西高
		局 員	稲田 浩子	青森南高	外崎 恵子						傳法 宏美 葛西 歩美	むつ工業高 田名部高	家口 美輝	八戸東高
		所 在	〒030-0856 青森市西大野二丁目12番40 県立青森南高等学校内 TEL017(739)3421Fax017(739)8373		〒038-3143 つがる市木造日向73-2 県立木造高等学校内 TEL0173(42)2066Fax0173(42)5189		〒036-8550 弘前市蔵主町7-1 県立弘前中央高等学校内 TEL0172(35)5000Fax0172(32)1659		〒034-0041 十和田市相坂高清水78-92 県立三本木農業恵拓高等学校内 TEL0176(23)5341Fax0176(23)2141		〒035-0096 むつ市大湊大近川44-84 県立大湊高等学校内 TEL0175(24)1244Fax0175(24)2680		〒039-1101 八戸市尻内町中根市14 県立八戸西高等学校内 TEL0178(27)5365Fax0178(27)5366	
	指導講師		石村 光也		近藤 徹		田中 均	瀧本ひろみ	丸井 英子		沢田 要一		中村 正	
			工藤 耕弘		鶴賀 一昭		多田 健司	(高校)	川崎 守		中村 聡			



6. 国 際 活 動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界192の国と地域の赤十字（赤新月社）と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手を差し伸べるとともに、国際親善の強化に努めている。

国際赤十字・赤新月社連盟は、大規模災害発生に備え、E R U（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型E R Uを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部管内ではE R U要員1名を有している。

（1）国際援助活動

① NHK海外たすけあい（第41回）

窓 口 区 分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支 部 扱 い	支部管内取扱	9 5	6 9 6, 6 7 7
	NHK各放送局	1	1 4, 5 7 0
	地方銀行	2 7	1 7 8, 8 3 1
	J F（県信漁連）	1	3, 0 0 0
合 計		1 2 4	8 9 3, 0 7 8

② 海外救援金受付状況

救 援 金 名	取扱件数（件）	取扱金額（円）
無指定海外救援金	1	5, 0 0 0
中東人道危機救援金	7	4 6 2
バングラデシュ南部避難民救援金	7	3 1 9
アフガニスタン人道危機救援金	9	9 6, 2 7 5
ウクライナ人道危機救援金	6 4	1, 0 3 8, 7 8 4
2023年トルコ・シリア地震救援金	5 0	9 4 3, 8 0 1
2023年アメリカ・ハワイ火災救援金	1 5	9 8, 1 4 2
2023年モロッコ地震救援金	1 6	7 4, 0 9 3
2023年リビア洪水救援金	1 1	1 6, 6 1 1
2023年アフガニスタン地震救援金	1 0	8 1, 0 9 9
イスラエル・ガザ人道危機救援金	2 1	9 4, 9 2 7
合 計	2 1 1	2, 4 4 9, 5 1 3

(2) 国際協力事業

○救急法普及支援事業

ラオス赤十字社が行う救急法普及事業に対して、財政支援や資機材整備支援等をはじめ、指導者のスキルアップのための技術指導の支援等を実施している。

○青少年赤十字海外支援事業

バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業及びボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

○気候変動等レジリエンス強化事業

ルワンダ赤十字社と連携し、気候変動の影響と考えられる災害、感染症や貧困などの社会課題に対し、住民が課題に取り組む「モデルビレッジアプローチ」を普及させ、レジリエンスを強化させるため、財政支援を実施している。

○気候変動対策事業

アフガニスタン赤新月社が主体となっていく、気候変動による自然災害へ対応するための「村落や学校での防災・減災活動」、「生活支援活動」に対し、財政支援を実施している。

◎国際協力事業に対する令和5年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	6,000,000円
内、当支部負担額	583,000円

(3) 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部と連携し、相互事業への協力を行っている。



NHK 海外たすけあい街頭募金の様子



人命救助授賞式の様子（アメリカ赤十字社三沢基地支部）



7. 社会福祉事業

○青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概 要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第5条第7項及び第5条第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を主として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障害児を入所させて、保護、日常生活の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障害児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、独立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障害者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障害者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与している。

(オ)短期入所（空床型）

障害者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障害児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障害児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障害児（者）の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児（者）延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延	9, 3 2 9人（1日平均 25.5人）
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延	9, 3 2 5人（1日平均 25.5人）
(ウ)医療型児童発達支援センター	延	1, 5 4 8人（1日平均 6.4人）
(エ)短期入所	延	1 8 6人（1日平均 0.5人）
(オ)生活介護	延	9 6 4人（1日平均 4.0人）
(カ)外来患者数	延	9, 7 9 6人（1日平均 40.5人）

③ 医療社会活動

活 動 内 容	派 遣 先	日数又は件数	派遣人員 (のべ人数)
療 育 相 談	上十三保健所	12日	12
	むつ保健所	4日	4
在宅重度身体障害者 訪問診療	三 沢 市	3件	9
	おいらせ町	1件	3
小・中学校脊椎側彎症等 運動器学校検診	八 戸 市	18日	18



キャップハンディ体験 令和5年6月28日



乗馬体験 令和5年10月25日



8. 医 療 事 業

○八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、赤十字の理念や赤十字思想の実践を通じ、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院（救急告示病院）、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域の救急医療、質の高い医療、災害救護に取り組んでいる。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、多くの制約が解除され、新型コロナウイルスとの共存に向けた新たな一年となった。

救急患者や紹介患者を受け入れ地域住民に信頼される急性期医療に貢献するべく、病院として「断らない」という認識を全職員が持って取り組んだ。また、一般診療の提供も継続して行い、地域に求められる・必要とされる医療・病院とは何かを問い続けながら、八戸地域保健医療圏の医療の充実・安定に努めた。

災害救護に関しては、令和6年元日に発生した能登半島地震に対して、被災地への救護班等を派遣し、環境整備や医療提供、こころのケアといった活動を行った。

経営状況については、看護師不足によって令和5年4月から精神科病床を休床せざるを得なくなったことで、入院診療収益の減収が見込まれたことから、新たな施設基準や現行の施設基準の上位の基準にする取り組みを行い医業収益の増収を図った。医業収支は赤字であったものの、上半期の新型コロナウイルス感染症に係る補助金助成により、総収支は黒字となった。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの変更により、行政関与の縮小や診療報酬上の特例措置の廃止・縮小など大きな転換期となった。エネルギー関連費用の高騰や物価上昇により費用の増加が続いているが、良質な急性期医療の提供と地域医療の確保と災害に強い医療機関を目指し、健全な経営を維持し、基本理念の実践に向けて取り組んでいかなければならないと考えている。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床 374床 一般病棟入院基本料 7：1

精神病床 60床休床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病内科、血液内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 112,744人（一日平均 308.0人 前年度比 + 5.2人）

イ. 外来患者 146,288人（一日平均 604.5人 前年度比 △25.2人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

令和5年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職 員	その他	計
母 親 学 級	0	0	0	0	0	0
栄 養 相 談	343(回)	1	5,954	1,256	0	1,256
各 種 検 診	49	2	2,449	49	0	49
患 者 慰 安	0	0	0	0	0	0
健 康 生 活 支 援 講 習 会	0	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生 ・ A E D 講 習 会	18	12	354	66	0	66
訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0
育 児 相 談	51	1	747	306	0	306
保 健 指 導	0	0	0	0	0	0



BLS・AED講習 令和5年6月12～16日



青森県総合防災訓練 令和5年8月25日



9. 血 液 事 業

○青森県赤十字血液センター

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め、確実な事業を遂行している。

令和5年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血推進2025」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

令和5年度の献血受け入れ計画は、県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため、献血者数44,838人、目標量19,611.7Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、青森県赤十字血液センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高年齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

令和5年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は47,093人で、前年度に比較すると34人の減となり、対前年比では99.9%となった。(令和4年度の献血者は47,127人)

献血量は20,591.6Lで、前年度に比較すると9.8Lの増となり、対前年比では100.0%となった。(令和4年度の献血量は20,581.8L)

(2) 供給状況

県内医療機関（病院等）への血液製剤供給本数は、200mL換算で193,551単位となり、前年度に比較すると636単位の増、対前年比では100.3%となった。(令和4年度の供給本数は192,915単位)

(3) 令和5年度 月別施設別献血状況

① 令和5年度月別施設別献血状況（4月～3月）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
青森バス	2 0 0 mL	26	35	12	62	18	39	108	42	16	65	23	32	478
	4 0 0 mL	1,381	1,410	1,393	1,454	1,453	1,427	1,435	1,327	1,614	1,408	1,280	1,322	16,904
	計	1,407	1,445	1,405	1,516	1,471	1,466	1,543	1,369	1,630	1,473	1,303	1,354	17,382
	確 保 量 (L)	557.6	571.0	559.6	594.0	584.8	578.6	595.6	539.2	648.8	576.2	516.6	535.2	6,857.2
	稼 働 日 数	37	36	35	36	39	38	41	38	40	39	36	37	452
一 台 平 均		38.0	40.1	40.1	42.1	37.7	38.6	37.6	36.0	40.8	37.8	36.2	36.6	38.5
八戸バス	2 0 0 mL	8	8	9	88	31	55	51	59	33	11	3	3	359
	4 0 0 mL	633	619	698	628	637	565	600	676	619	723	562	673	7,633
	計	641	627	707	716	668	620	651	735	652	734	565	676	7,992
	確 保 量 (L)	254.8	249.2	281.0	268.8	261.0	237.0	250.2	282.2	254.2	291.4	225.4	269.8	3,125.0
	稼 働 日 数	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16	188
一 台 平 均		42.7	41.8	44.2	44.8	41.8	38.8	40.7	45.9	40.8	45.9	40.4	42.3	42.5
全血バス合計	2 0 0 mL	34	43	21	150	49	94	159	101	49	76	26	35	837
	4 0 0 mL	2,014	2,029	2,091	2,082	2,090	1,992	2,035	2,003	2,233	2,131	1,842	1,995	24,537
	計	2,048	2,072	2,112	2,232	2,139	2,086	2,194	2,104	2,282	2,207	1,868	2,030	25,374
	確 保 量 (L)	812.4	820.2	840.6	862.8	845.8	815.6	845.8	821.4	903.0	867.6	742.0	805.0	9,982.2
	稼 働 日 数	52	51	51	52	55	54	57	54	56	55	50	53	640
一 台 平 均		39.4	40.6	41.4	42.9	38.9	38.6	38.5	39.0	40.8	40.1	37.4	38.3	39.6
青森ルーム	2 0 0 mL	13	11	6	10	12	16	8	22	10	11	14	15	148
	4 0 0 mL	308	299	277	327	238	300	346	336	332	321	332	351	3,767
	血 漿	399	393	419	434	384	397	399	423	420	388	364	407	4,827
	血小板(分 割)	76	58	69	65	69	83	75	84	77	73	88	90	907
	血小板(分割以外)	46	59	45	47	42	47	56	44	49	54	71	82	642
	計	842	820	816	883	745	843	884	909	888	847	869	945	10,291
	確 保 量 (L)	414.7	403.4	407.4	435.2	372.1	415.6	433.4	444.7	437.5	415.7	424.8	463.2	5,067.7
	稼 働 日 数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	25	25	27	313
一 日 平 均		32.4	31.5	31.4	32.7	28.7	32.4	34.0	35.0	32.9	33.9	34.8	35.0	32.9
弘前ルーム	2 0 0 mL	27	24	29	9	27	20	24	24	23	7	27	22	263
	4 0 0 mL	341	350	435	326	343	364	358	373	385	337	402	469	4,483
	血 漿	380	399	419	400	360	349	385	378	405	432	319	325	4,551
	血小板(分 割)	84	76	82	92	71	96	114	105	93	104	130	145	1,192
	血小板(分割以外)	75	81	60	60	70	76	74	87	75	70	95	116	939
	計	907	930	1,025	887	871	905	955	967	981	950	973	1,077	11,428
	確 保 量 (L)	439.6	451.4	490.4	438.2	419.1	437.7	465.7	469.1	475.5	472.0	467.3	515.9	5,541.8
	稼 働 日 数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	30	29	31	364
一 日 平 均		30.2	30.0	34.2	28.6	28.1	30.2	30.8	32.2	32.7	31.7	33.6	34.7	31.4
合 計	2 0 0 mL	74	78	56	169	88	130	191	147	82	94	67	72	1,248
	4 0 0 mL	2,663	2,678	2,803	2,735	2,671	2,656	2,739	2,712	2,950	2,789	2,576	2,815	32,787
	血 漿	779	792	838	834	744	746	784	801	825	820	683	732	9,378
	血小板(分 割)	160	134	151	157	140	179	189	189	170	177	218	235	2,099
	血小板(分割以外)	121	140	105	107	112	123	130	131	124	124	166	198	1,581
	合 計	3,797	3,822	3,953	4,002	3,755	3,834	4,033	3,980	4,151	4,004	3,710	4,052	47,093
	確 保 量 (L)	1,666.7	1,675.0	1,738.4	1,736.1	1,637.0	1,669.0	1,744.9	1,735.2	1,816.0	1,755.3	1,634.1	1,784.0	20,591.6
	稼 働 日 数	108	108	107	110	112	110	114	110	113	110	104	111	1,317
一 日 平 均		35.2	35.4	36.9	36.4	33.5	34.9	35.4	36.2	36.7	36.4	35.7	36.5	35.8
	初回献血者数(人)	272	316	288	296	188	309	406	287	238	182	184	202	3,168
	再来献血者数(人)	3,525	3,506	3,665	3,706	3,567	3,525	3,627	3,693	3,913	3,822	3,526	3,850	43,925
	初回献血率(%)	7.2	8.3	7.3	7.4	5.0	8.1	10.1	7.2	5.7	4.5	5.0	5.0	6.7

② 年齢別献血者数推移調

(人)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ～ 19 歳	1,284	1,502	2,786	1,346	1,496	2,842	1,391	1,387	2,778
20 ～ 29 歳	3,964	2,629	6,593	3,857	2,544	6,401	3,753	2,469	6,222
30 ～ 39 歳	5,114	2,352	7,466	4,996	2,389	7,385	4,948	2,291	7,239
40 ～ 49 歳	8,673	3,688	12,361	8,205	3,384	11,589	8,066	3,370	11,436
50 ～ 59 歳	9,158	3,714	12,872	9,279	3,745	13,024	9,439	3,827	13,266
60 ～ 69 歳	4,162	1,422	5,584	4,435	1,451	5,886	4,721	1,431	6,152
計	32,355	15,307	47,662	32,118	15,009	47,127	32,318	14,775	47,093

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区 分	構成比率(%)	前年比(%)	前年増減(人)
16 ～ 19 歳	5.9	97.7	▲ 64
20 ～ 29 歳	13.2	97.2	▲ 179
30 ～ 39 歳	15.4	98.0	▲ 146
40 ～ 49 歳	24.3	98.7	▲ 153
50 ～ 59 歳	28.2	101.9	242
60 ～ 69 歳	13.1	104.5	266
計	100.0	99.9	▲ 34

④ 職業別献血者推移調

(人)

区 分	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公 務 員	8,716	1,881	10,597	8,783	1,800	10,583	8,906	1,780	10,686
会 社 員	16,739	6,126	22,865	16,462	6,082	22,544	16,754	6,133	22,887
高 校 生	548	937	1,485	746	936	1,682	735	841	1,576
その他学生	1,431	1,372	2,803	1,301	1,360	2,661	1,282	1,355	2,637
そ の 他	4,921	4,991	9,912	4,826	4,831	9,657	4,641	4,666	9,307
計	32,355	15,307	47,662	32,118	15,009	47,127	32,318	14,775	47,093

(4) 令和2年・3年・4年・5年度月別血液供給数

(200mL換算)

月区分	令和2年度 県内供給数	令和3年度 県内供給数	令和4年度 県内供給数	令和5年度 県内供給数
4 月	14,981	17,018	15,689	16,200
5 月	15,961	15,719	16,115	16,487
6 月	16,972	16,184	14,581	15,241
7 月	16,521	16,612	16,652	15,742
8 月	16,109	15,834	15,989	17,919
9 月	14,845	15,348	15,386	17,490
10 月	15,666	15,603	14,886	17,757
11 月	15,938	16,780	14,993	15,248
12 月	17,389	17,110	17,348	15,267
1 月	17,461	16,517	16,765	14,992
2 月	16,010	14,721	16,273	14,590
3 月	18,413	16,377	18,238	16,618
合 計	196,266	193,823	192,915	193,551

※200mL換算とは、200mL献血から分離された赤血球を1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



全国学生クリスマス献血キャンペーンに参加する学生ボランティア



青森まほろばライオンズクラブ様からジャンパーのご寄贈

(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上
〈金色有功章〉

市 町 村	人 数
青 森 市	28
弘 前 市	16
十和田市	5
黒 石 市	4
平 川 市	2
五所川原市	2
む つ 市	2
鶴 田 町	2
八 戸 市	1
板 柳 町	1
大 鰐 町	1
おいらせ町	1
五 戸 町	1
六 戸 町	1
野辺地町	1
東 通 村	1
計	69

◎献血回数 70回以上
〈銀色有功章〉

市 町 村	人 数
青 森 市	35
弘 前 市	30
八 戸 市	10
藤 崎 町	6
三 沢 市	4
黒 石 市	3
む つ 市	3
おいらせ町	3
五所川原市	2
つ がる 市	2
十和田市	2
板 柳 町	2
南 部 町	2
鶴 田 町	2
平 川 市	1
階 上 町	1
六 戸 町	1
計	109



献血の呼びかけにご協力いただいた三沢ライオンズクラブ
及び三沢木崎野ライオンズクラブの皆様



献血の呼びかけにご協力いただいた
青森はまなすライオンズクラブの皆様



献血にご協力いただいた青森山田高等学校の皆様



10. 活動資金の募集状況及び会員の現況

令和5年度の会員増強・活動資金増収運動は、「赤十字を支えるあなたの“ちから”」をスローガンに掲げ、令和5年2月1日から同月28日までを「運動強調月間」とし、通年募集を行った。

なお、赤十字奉仕者による募集活動については、地域の実情を踏まえた最も効果的と思われる時期に実施するなど柔軟に対応し、支部と地区・分区が連携のもと、県民に対する赤十字運動への参画と理解浸透を図った。

令和5年度の活動資金実績は214,507,896円（目標額の116.7%）となり、昨年度に引き続き、目標額達成となった。

（1）会員増強・活動資金増収運動の主な取り組み

当支部の組織基盤となる会員（協力会員を含む）の継続した会費協力を促すため、広報資材を活用した地域住民に対する会員制度の定着を図ったほか、口座振替やクレジットカード決済等による活動資金の協力を行う会員の確保、ウェビナー等を通じた遺贈・相続財産寄付に関する相談対応職員の教育強化、法人会員へのダイレクトメール等による活動資金の確保に努めた。

（2）令和5年度 会員増強・活動資金増収運動の状況

① 会員等状況調

日本赤十字社は、会員等をもって組織されており、当支部では毎年2月から通年による会員増強・活動資金増収運動を展開している。当支部の会員等状況は、下表のとおりである。

（ア）会員（社法上の社員）（令和6年3月31日現在）

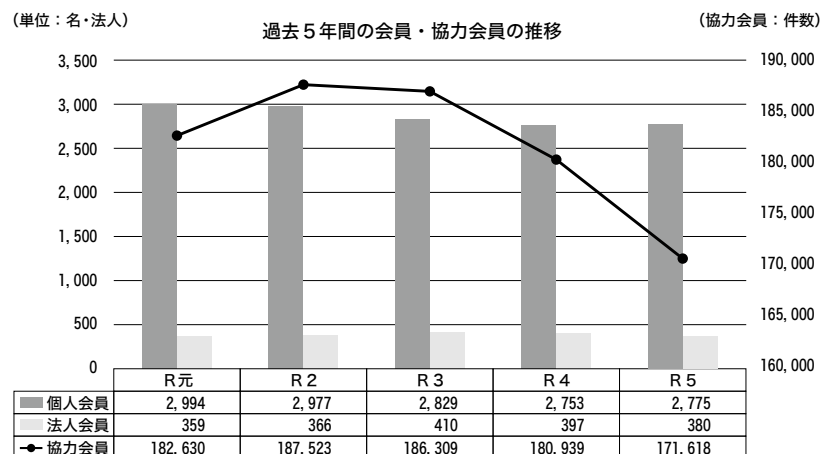
	会員数（名・法人）
個 人	2,775
法 人	380
合 計	3,155

※日本赤十字社の目的に賛同し、年額2,000円以上を納め運営に参画する個人又は法人

（イ）協力会員（令和6年3月31日現在）

	協力会員件数
個人・法人	171,618

※会員以外の者であって、日本赤十字社の目的に賛同し、目安として年額500円以上を提供する個人又は団体



② 募集実績額

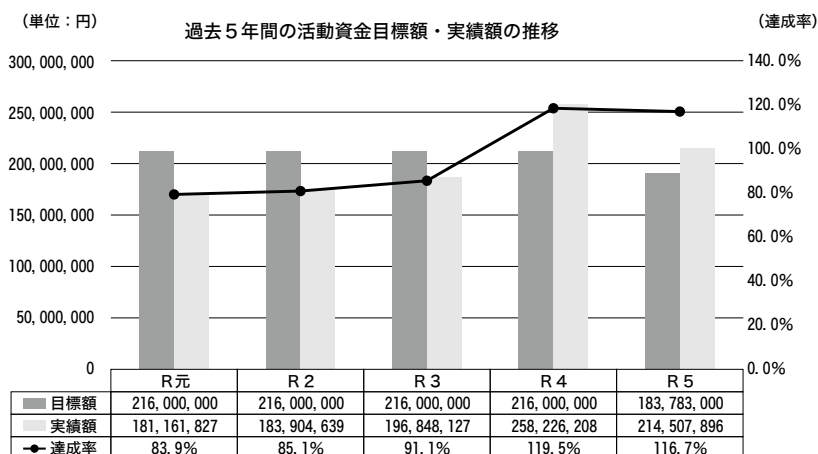
令和5年度の募集実績額は、前年度募集実績額258,226,208円に対し、前年度比で43,718,312円（16.9%）の減となった。主たる要因としては、個人からの大口寄付金の減が挙げられる。

《地区区分・支部別の募集実績額》

区 分		目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達成率 (%)
総 額		183,783,000	214,507,896	116.7
内 訳	地 区 分 区 扱 い	140,572,000	137,148,684	97.6
	支 部 扱 い	43,211,000	77,359,212	179.0

《会費・寄付金の収入状況》

区 分		会 費 (円)	寄 付 金 (円)	合 計 (円)
総 額		130,013,760	84,494,136	214,507,896
内 訳	一 般	127,986,227	70,562,287	198,548,514
	地 区 分 区 扱 い	126,583,727	9,639,957	136,223,684
	支 部 扱 い	1,402,500	60,922,330	62,324,830
	法 人	2,027,533	13,931,849	15,959,382
	地 区 分 区 扱 い	422,000	503,000	925,000
	支 部 扱 い	1,605,533	13,428,849	15,034,382



③ 令和5年度 会員増強・活動資金増収運動の募集実績表

区分 地区・分區別		A目標額(円)	B実績額(円)	B/A(%)	区分 地区・分區別		A目標額(円)	B実績額(円)	B/A(%)
市 地 区	青 森 市	24,558,000	22,006,075	89.6	南 地 区	藤 崎 町	2,131,000	1,975,385	92.7
	旧青森市	22,114,000	19,628,818	88.8		大 鰐 町	1,366,000	1,196,100	87.6
	旧浪岡町	2,444,000	2,377,257	97.3		田 舎 館 村	1,234,000	1,456,150	118.0
	弘 前 市	11,930,000	12,123,748	101.6		計	4,731,000	4,627,635	97.8
	八 戸 市	20,473,000	20,331,977	99.3	北 地 区	鶴 田 町	1,963,000	1,832,950	93.4
	黒 石 市	3,171,000	2,888,250	91.1		中 泊 町	1,951,000	1,718,381	88.1
	五所川原市	6,058,000	6,806,982	112.4		計	3,914,000	3,551,331	90.7
	旧五所川原市	4,331,000	5,201,582	120.1	上 北 地 区	野 辺 地 町	1,867,000	1,737,950	93.1
	旧金木町	1,253,000	1,153,200	92.0		七 戸 町	2,674,000	2,473,200	92.5
	旧市浦村	474,000	452,200	95.4		六 戸 町	1,401,000	1,852,400	132.2
	十 和 田 市	6,426,000	5,487,780	85.4		横 浜 町	822,000	815,000	99.1
	三 沢 市	3,921,000	3,874,450	98.8		東 北 町	2,547,000	2,375,000	93.2
	む つ 市	5,893,000	5,421,606	92.0		六ヶ所村	1,552,000	1,676,300	108.0
	旧むつ市	3,970,000	3,678,206	92.7		計	10,863,000	10,929,850	100.6
	旧川内町	663,000	578,500	87.3	下 北 地 区	大 間 町	658,000	578,700	87.9
	旧大畑町	980,000	868,300	88.6		東 通 村	1,141,000	1,050,800	92.1
	旧脇野沢	280,000	296,600	105.9		風間浦村	438,000	390,000	89.0
	つ がる 市	5,729,000	5,190,200	90.6		佐 井 村	501,000	535,750	106.9
	平 川 市	4,886,000	5,674,116	116.1		計	2,738,000	2,555,250	93.3
					三 戸 地 区	三 戸 町	1,902,000	2,108,450	110.9
	計	93,045,000	89,805,184	96.5		五 戸 町	2,930,000	3,535,250	120.7
東 地 区	平 内 町	2,224,000	1,983,100	89.2		田 子 町	1,032,000	988,600	95.8
	今 別 町	731,000	647,056	88.5		南 部 町	3,161,000	3,270,550	103.5
	蓬 田 村	508,000	762,000	150.0		階 上 町	2,062,000	2,014,570	97.7
	外ヶ浜町	1,456,000	1,345,300	92.4		新 郷 村	434,000	667,200	153.7
	計	4,919,000	4,737,456	96.3		おいらせ町	2,912,000	2,871,801	98.6
西 地 区	鰺ヶ沢町	2,050,000	1,943,500	94.8		計	14,433,000	15,456,421	107.1
	深 浦 町	1,550,000	1,279,957	82.6	支 部 直 轄 扱		43,211,000	77,359,212	179.0
	計	3,600,000	3,223,457	89.5	市 計		93,045,000	89,805,184	96.5
中 地 区	西目屋村	315,000	405,000	128.6	町 村 合 計		47,527,000	47,343,500	99.6
	板 柳 町	2,014,000	1,857,100	92.2	市 町 村 合 計		140,572,000	137,148,684	97.6
	計	2,329,000	2,262,100	97.1	合 計		183,783,000	214,507,896	116.7

④ 令和5年度 会員増強・活動資金増収運動の募集実績額対前年度比較表

区分 地区・分區別		令和5年度		B / A 目標額 達成率	C 令和4年度 実績額(円)	B－C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				B/C	達成率
市地区	青森市	22,114,000	19,628,818	88.8%	19,968,845	-340,027	98.3%	-1.7%
	青森市浪岡	2,444,000	2,377,257	97.3%	2,333,036	44,221	101.9%	1.9%
	弘前市	11,930,000	12,123,748	101.6%	10,861,574	1,262,174	111.6%	11.6%
	八戸市	20,473,000	20,331,977	99.3%	19,490,260	841,717	104.3%	4.3%
	黒石市	3,171,000	2,888,250	91.1%	3,048,150	-159,900	94.8%	-5.2%
	五所川原市	4,331,000	5,201,582	120.1%	4,007,290	1,194,292	129.8%	29.8%
	五所川原市金木	1,253,000	1,153,200	92.0%	1,193,450	-40,250	96.6%	-3.4%
	五所川原市市浦	474,000	452,200	95.4%	470,700	-18,500	96.1%	-3.9%
	十和田市	6,426,000	5,487,780	85.4%	5,402,580	85,200	101.6%	1.6%
	三沢市	3,921,000	3,874,450	98.8%	3,706,437	168,013	104.5%	4.5%
	むつ市	3,970,000	3,678,206	92.7%	3,924,722	-246,516	93.7%	-6.3%
	むつ市川内	663,000	578,500	87.3%	605,100	-26,600	95.6%	-4.4%
	むつ市大畑	980,000	868,300	88.6%	888,300	-20,000	97.7%	-2.3%
	むつ市脇野沢	280,000	296,600	105.9%	71,000	225,600	417.7%	317.7%
	つがる市	5,729,000	5,190,200	90.6%	6,192,850	-1,002,650	83.8%	-16.2%
	平川市	4,886,000	5,674,116	116.1%	5,797,113	-122,997	97.9%	-2.1%
計	93,045,000	89,805,184	96.5%	87,961,407	1,843,777	102.1%	2.1%	
東地区	平内町	2,224,000	1,983,100	89.17%	2,026,500	-43,400	97.9%	-2.1%
	今別町	731,000	647,056	88.52%	653,590	-6,534	99.0%	-1.0%
	蓬田村	508,000	762,000	150.00%	780,000	-18,000	97.7%	-2.3%
	外ヶ浜町	1,456,000	1,345,300	92.40%	1,295,000	50,300	103.9%	3.9%
	計	4,919,000	4,737,456	96.31%	4,755,090	-17,634	99.6%	-0.4%
西地区	鯹ヶ沢町	2,050,000	1,943,500	94.80%	1,903,000	40,500	102.1%	2.1%
	深浦町	1,550,000	1,279,957	82.58%	1,422,600	-142,643	90.0%	-10.0%
	計	3,600,000	3,223,457	89.54%	3,325,600	-102,143	96.9%	-3.1%
中地区	西目屋村	315,000	405,000	128.57%	415,000	-10,000	97.6%	-2.4%
	板柳町	2,014,000	1,857,100	92.21%	1,872,600	-15,500	99.2%	-0.8%
	計	2,329,000	2,262,100	97.13%	2,287,600	-25,500	98.9%	-1.1%
南地区	藤崎町	2,131,000	1,975,385	92.70%	1,995,350	-19,965	99.0%	-1.0%
	大鰐町	1,366,000	1,196,100	87.56%	1,235,400	-39,300	96.8%	-3.2%
	田舎館村	1,234,000	1,456,150	118.00%	1,530,900	-74,750	95.1%	-4.9%
	計	4,731,000	4,627,635	97.82%	4,761,650	-134,015	97.2%	-2.8%
北地区	鶴田町	1,963,000	1,832,950	93.37%	1,843,286	-10,336	99.4%	-0.6%
	中泊町	1,951,000	1,718,381	88.08%	1,731,030	-12,649	99.3%	-0.7%
	計	3,914,000	3,551,331	90.73%	3,574,316	-22,985	99.4%	-0.6%
上北地区	野辺地町	1,867,000	1,737,950	93.09%	1,761,800	-23,850	98.6%	-1.4%
	七戸町	2,674,000	2,473,200	92.49%	2,543,724	-70,524	97.2%	-2.8%
	六戸町	1,401,000	1,852,400	132.22%	1,859,900	-7,500	99.6%	-0.4%
	横浜町	822,000	815,000	99.15%	838,000	-23,000	97.3%	-2.7%
	東北町	2,547,000	2,375,000	93.25%	2,428,600	-53,600	97.8%	-2.2%
	六ヶ所村	1,552,000	1,676,300	108.01%	1,457,900	218,400	115.0%	15.0%
	計	10,863,000	10,929,850	100.62%	10,889,924	39,926	100.4%	0.4%
下北地区	大間町	658,000	578,700	87.95%	591,300	-12,600	97.9%	-2.1%
	東通村	1,141,000	1,050,800	92.09%	1,068,600	-17,800	98.3%	-1.7%
	風間浦村	438,000	390,000	89.04%	395,500	-5,500	98.6%	-1.4%
	佐井村	501,000	535,750	106.94%	514,500	21,250	104.1%	4.1%
	計	2,738,000	2,555,250	93.33%	2,569,900	-14,650	99.4%	-0.6%
三戸地区	三戸町	1,902,000	2,108,450	110.85%	2,119,200	-10,750	99.5%	-0.5%
	五戸町	2,930,000	3,535,250	120.66%	3,669,900	-134,650	96.3%	-3.7%
	田子町	1,032,000	988,600	95.79%	1,000,100	-11,500	98.9%	-1.1%
	南部町	3,161,000	3,270,550	103.47%	3,332,207	-61,657	98.1%	-1.9%
	階上町	2,062,000	2,014,570	97.70%	2,057,057	-42,487	97.9%	-2.1%
	新郷村	434,000	667,200	153.73%	579,700	87,500	115.1%	15.1%
	おいらせ町	2,912,000	2,871,801	98.62%	2,973,350	-101,549	96.6%	-3.4%
	計	14,433,000	15,456,421	107.09%	15,731,514	-275,093	98.3%	-1.7%
支 部 直 轄		43,211,000	77,359,212	179.03%	122,369,207	-45,009,995	63.2%	-36.8%
市 計		93,045,000	89,805,184	96.5%	87,961,407	1,843,777	102.1%	2.1%
町 村 合 計		47,527,000	47,343,500	99.6%	47,895,594	-552,094	98.8%	-1.2%
市 町 村 合 計		140,572,000	137,148,684	97.6%	135,857,001	1,291,683	101.0%	1.0%
合 計		183,783,000	214,507,896	116.7%	258,226,208	-43,718,312	83.1%	-16.9%

⑤ 令和５年度 地区分区分別の募集目標額達成状況

達成率区分	市地区	東地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三戸地区	合 計	前年度との比較
150%以上		蓬 田 村					新 郷 村	2	1
140%以上 150%未満								0	0
130%以上 140%未満					六 戸 町			1	－2
120%以上 130%未満	五所川原市			西 目 屋 村			五 戸 町	3	1
110%以上 120%未満	平 川 市			田 舎 館 村			三 戸 町	3	1
100%以上 110%未満	むつ市脇野沢 弘 前 市				六ヶ所村	佐 井 村	南 部 町	5	－1
計	4	1	0	2	2	1	4	14	0
90%以上 100%未満	八 戸 市 三 沢 市 青森市浪岡 五所川原市市浦 む っ 市 五所川原市金木 黒 石 市 つ がる 市	外ヶ浜町	鰺ヶ沢町 鶴 田 町	藤 崎 町 板 柳 町	横 浜 町 東 北 町 野 辺 町 七 戸 町	東 通 村	おいらせ町 階 上 町 田 子 町	21	16
80%以上 90%未満	青 森 市 むつ市大畑 むつ市川内 十 和 田 市	平 内 町 今 別 町	中 泊 町 深 浦 町	大 鰐 町		風 間 浦 村 大 間 町		11	1
70%以上 80%未満								0	－5
60%以上 70%未満								0	－4
60%未満								0	－9
計	12	3	4	3	4	3	3	32	－1



11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、名誉総裁の皇后陛下をはじめ、名誉副総裁の各妃殿下がご臨席され、以下のとおり全国赤十字大会が開催された。

期 日 令和5年5月18日

場 所 東京都「明治神宮会館」

参 会 者 数 約1,600名

支部参会者 11名

支部参会者は、下表のとおり（順不同）

氏 名	役職名等	氏 名	役職名等
木 明 昭一郎	支部選出理事	工 藤 耕 弘	奉仕団・青少年赤十字指導講師
工 藤 順 巳	支部副支部長	山 田 康 子	はまなす医療療育センター看護部長
高 橋 文 雄	支部評議員	神 登喜彦	支部事務局長
石 倉 司	支部評議員	田 澤 達 也	支部総務課長
三 上 伸	県有功会監事	中 居 侑 暉	支部総務課主事
小 野 慶 子	赤十字奉仕団支部委員会副委員長		



全国赤十字大会に参会された本県の赤十字関係者

(2) 活動資金功労表彰伝達式

令和5年中に、当支部に対して活動資金の支援を行った個人・法人に日本赤十字社及び国の表彰制度に基づく有功章等の伝達を行った。

期 日 令和6年3月26日

場 所 ホテル青森（青森市）

伝 達 者 日本赤十字社青森県支部 支部長 宮下 宗一郎

受章(賞)件数 44名・法人

表彰区分 功労区分		金色 有功章	銀色 有功章	社長 感謝状	厚生労働大臣 感謝状 (※)	紺綬褒章 (※)	計
社 資 功 労	個 人	5	8	7	3	1	24
	法 人	4	5	10	0	0	19
	団 体	1	0	0	0	0	1
合 計		10	13	17	3	1	44

(※) 国の表彰



活動資金功労表彰伝達式に出席された受章者



伝達式で祝辞を述べる宮下支部長



支部長から感謝状が伝達される受章者

(3) 広報活動の実施状況について

① 会員、活動資金の募集運動用資材の作製と配布

1) 広報ポスター（日赤本社作製）

作 製 数：4,500枚

活用内容：「道の駅」等市町村主要施設に掲出

2) 広報チラシ

作 製 数：435,000枚

仕 様：A 4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配布、「道の駅」等市町村主要施設に設置

3) 奉仕者協力依頼状（白封筒付き）

作 製 数：13,000枚

仕 様：A 4、三つ折り、2色刷り

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

4) 会員・活動資金募集の手順書

作 製 数：32,000枚

仕 様：A 4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

5) 税制上の優遇措置、赤十字の表彰と表彰種別

作 製 数：36,000枚

仕 様：A 4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配布

6) 会員加入・寄付申込書兼領収書

作 製 数：80,000枚（320,000人分）

仕 様：B 4、両面2色刷り

活用内容：会員への加入、活動資金の納付

7) 全国版活動資金募集リーフレット（日赤本社作製）

作 製 数：6,000部

活用内容：町内・自治会による募集が困難な地域などへの試行的な活用、管内施設やイベント等での配布

② 資材による広報活動

1) リーフレット「日本赤十字社のご案内」（日赤本社作製）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配布

2) キャンペーン用広報ポスター（日赤本社作製）

活用内容：キャンペーン期間中に管内施設、地区分区等で掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社作製）

発行回数：毎月発行

発 行 数：1回につき1,800部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付

4) 支部報「日赤あおもり」

発行回数：年度発行

発行数：2,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付



日赤あおもり409号 2023合併号（令和6年3月31日発行）

③ メディア等による広報活動

1) テレビ局におけるパブリシティ

地元テレビ局のパブリシティ枠を確保し、地域における赤十字活動の理解促進を図った。

(ア) 青森テレビ（ＡＴＶ）10月放送

(イ) 青森朝日放送（ＡＢＡ）2月放送

2) 新聞広告の掲載

新聞各社が企画する防災特別紙面において、日本赤十字社が展開する3月の「ACTION! 防災・減災」の取り組みの一環として広告を出稿し、防災・減災の意識向上と会員増強・活動資金増収運動への理解促進と赤十字思想の普及を図った。

(ア) 東奥日報社 連合広告（2段1／2カラー）、営業広告（5段1／2カラー）

(イ) 陸奥新報社 編集記事下広告（2段1／2カラー）

(ウ) デーリー東北新聞社 編集記事下広告（3段1／4モノクロ）

3) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿を依頼した。

4) ホームページ、SNSの運用

支部統合ウェブサイト（当支部ホームページ）による赤十字活動の紹介、活動資金の募集、ボランティアの加入方法等の情報を発信したほか、当支部公式SNS（Twitter、Facebook、Instagram）による積極的な情報発信に努めた。

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業

地区区分が各自治体等で開催するイベント等で、赤十字活動の広報展開を行った。

《実施状況》 7 分区（8 事業）

分区名	事業名	実施日
外ヶ浜町	龍飛崎海岸清掃奉仕活動	6月30日
新郷村	新郷村防災訓練	10月22日
田子町	「田子町立図書館」赤十字コーナー	10月11日～18日
	「田子町文化祭」赤十字コーナー	10月21日～22日
おいらせ町	生涯学習フェスティバル	10月21日～22日
横浜町	「公民館まつり」赤十字コーナー	10月28日～29日
東北町	東北町生き活き産業文化まつり	11月4日～5日
階上町	階上町民文化祭	11月4日～5日



新郷村防災訓練での炊き出しの様子（新郷村）



田子町文化祭での赤十字コーナーの様子（田子町）

2) 世界赤十字デー レッドライトアッププロジェクト

5月8日の「世界赤十字デー」を中心に、全国各地のランドマークや施設が赤十字のシンボルカラーに染まる「レッドライトアッププロジェクト」を実施し、当支部では5月8日に5ヵ所の施設で実施した。

(ア) 津軽ダム（国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所）

(イ) 八戸市多賀多目的運動場（八戸スポーツ・地域振興グループ）

(ウ) むつマエダアリーナ（むつ市）

(エ) 北の防人大湊 海望館（むつ市）

(オ) 大橋*（むつ市） *むつ市円通寺から田名部神社方面へ向かう橋



昨年、初めて実施したむつ市内3施設
（左から、むつマエダアリーナ、北の防人大湊 海望館、大橋）

3) ACTION! 防災・減災一命のために今うごくー

社会の防災への意識が高まる9月と3月に「災害の備え」という行動(ACTION)を働き掛け、防災・減災の意識向上を図るため、「ACTION! 防災・減災」を展開した。

当支部では関係機関の協力を仰ぎ、WEBサイトやSNS上での特設WEBサイトURLの掲載や閲覧、ポスター掲示により備える力を高める活動の普及促進を強化した。

4) ACTION! BOUSAI キャンプフェス2023

日本赤十字社が展開する9月の「ACTION! 防災・減災」の取り組みの一環として、キャンプや様々なプログラムを通じて、防災・減災への備えが命を守るための備えであるという本質を理解し、自らの行動変容や知識や工夫の周囲への拡散による防災意識の向上のため、キャンプイベントを開催した。

イベントには、県内の家族連れなど43名が参加し、心肺蘇生などの一次救命処置や初期消火の体験、非常食の炊き出しを行ったほか、お天気クイズへの挑戦などのプログラムを展開した。

期 日 令和5年9月9日～10日(1泊2日)

場 所 夜越山オートキャンプ場

後 援 平内町、株式会社エフエム青森、東奥日報社

協 賛 平内町商工会、平内町漁業協同組合

協 力 青森県オート・キャンプ協会、青森地方気象台、青森県木登り協会 橙、特定非営利活動法人 青森県防災士会、青森地域広域事務組合平内消防署、青森県スラックライン協会



防火衣を試着する参加者



薪割体験の様子



炊飯袋を使ったゼリー作り



12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の「親睦・奉仕」を合い言葉に「人道・博愛」を使命とする赤十字事業を支援し続け、昨年5月、44年目を迎えた。

令和6年3月31日現在、会員数は、321名（社・団体）となっている。

（1）有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
4	2,600,000	17	7,900,000	21	10,500,000

（2）青森県赤十字有功会会員の状況

（令和6年3月31日 現在）

区 分 市郡別	個 人		法 人		計
	金色有功章	銀色有功章	金色有功章	銀色有功章	
青 森 市	39	20	36	8	103
弘 前 市	10	4	16	3	33
八 戸 市	22	5	32	4	63
黒 石 市	0	1	1	0	2
五 所 川 原 市	3	4	1	2	10
十 和 田 市	6	3	7	1	17
三 沢 市	3	1	3	0	7
む つ 市	7	2	4	0	13
つ が る 市	2	2	1	1	6
平 川 市	0	0	0	0	0
小 計	92	42	101	19	254
東 津 軽 郡	4	5	3	4	16
西 津 軽 郡	1	1	2	1	5
中 津 軽 郡	0	0	0	0	0
南 津 軽 郡	1	1	1	0	3
北 津 軽 郡	2	0	0	1	3
上 北 郡	6	4	6	3	19
下 北 郡	1	2	3	0	6
三 戸 郡	12	1	1	0	14
小 計	27	14	16	9	66
県 外	1	0	0	0	1
合 計	120	56	117	28	321

※会員総数 321 (内訳) 個人 176 名
法人 145 社

(3) 令和5年度 青森県赤十字有功会主要事業

項 目 / 概 要			
1) 有功会員による仲間づくり運動の推進			
令和5年度協力実績	21件	10,500,000円	令和6年3月31日現在 個人・法人会員数 321人・社 ※前年度 336人・社
(内訳)			
新規有功章等募集	4件	2,600,000円	
会員による寄付金	17件	7,900,000円	
2) 地区赤十字有功会への活動の助成			
地区有功会活動助成金	3地区	76,000円	
(内訳)			
弘前市赤十字有功会		36,000円	
平内町赤十字有功会		20,000円	
蓬田村赤十字有功会		20,000円	
3) 有功会報の発行			
有功会報 第78号発行（発行日：令和6年3月）			全会員ほか関係者等へ送付
4) 各種義援金等寄託			
令和5年度義援金・救援金	2件	40,000円	
(内訳)			
令和5年7月7日からの大雨災害		20,000円	
NHK海外たすけあい		20,000円	
5) 青少年・こども赤十字活動支援			
品名：けんけつちゃん×ハートラちゃんハンドタオル（ライトブルー）			500枚贈呈
6) 各種行事等			
①監査（書面監査）			
・令和4年度事業並びに会計収支監査			
②第60回役員会（文書審議／8月2日承認）			
・議案審議			
令和4年度事業報告及び収支決算について			
令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について			
③通常総会（8月28日；ホテル青森）			
・議案審議			
令和4年度事業報告及び収支決算について			
令和5年度事業計画（案）及び収支予算（案）について			
④地区有功会総会			
・蓬田村赤十字有功会定時総会（7月26日）			
⑤日赤紺綬・有功会会長協議会総会（10月12日：ANAクラウンプラザホテル広島）			
⑥新年祝賀会員互礼会			
・青森会場（1月17日：ホテル青森）			
・弘前会場（1月11日：弘前パークホテル）			
・八戸会場（1月12日：八戸プラザホテル）			



通常総会の様子



新年祝賀互礼会にて新年の挨拶を述べる工藤有功会長



13. 評議員会及び監査

令和5年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 第166回支部評議員会

開催年月日 令和5年6月19日（月）

審議議案

1. 令和4年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算について
2. 令和4年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算について
3. 令和4年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算について
4. 令和4年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）について
5. 任期満了に伴う監査委員の選出について

報告

令和4年度 青森県赤十字血液センター 事業報告について

② 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（7月12日承認）

審議議案 辞任に伴う支部長の選出

③ 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（12月22日承認）

審議議案 辞任に伴う副支部長の選出

④ 第167回支部評議員会

開催年月日 令和6年2月9日（金）

審議議案

1. 令和6年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画（案）及び一般会計歳入歳出予算（案）について
2. 令和6年度 はまなす医療療育センター 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）について
3. 令和6年度 八戸赤十字病院 事業計画及び医療施設特別会計歳入歳出予算（案）について
4. 令和6年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）について
5. 令和6年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）について

報告

1. 令和6年度 青森県赤十字血液センター事業計画（案）について
2. 令和6年能登半島地震災害救護報告について

⑤ 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（3月18日承認）

審議議案 令和5年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）
について

⑥ 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（3月26日承認）

審議議案 令和5年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）
について
（令和6年能登半島地震災害救護班派遣にかかる予算の補正）

（2）監査

令和4年度決算監査

施設名	実施方法等	監査委員
日本赤十字社青森県支部	実地監査（5月26日）	若佐谷 典人 加川 史 高橋 文雄
青森県赤十字血液センター	実地監査（5月26日）	
八戸赤十字病院	実地監査（5月24日）	
青森県立はまなす医療療育センター	実地監査（5月23日）	



14. 令和5年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事業費目	金額 (円)
支部収入	
社資収入	214,917,896
委託金等収入	0
補助金及び交付金収入	2,449,716
繰入金収入	5,677,256
資産収入	11,911,180
雑収入	5,295,687
前年度繰越金	20,731,201
収入合計	260,982,936

事業費目	金額 (円)
支部費	
災害救助活動及び救護資材の整備	12,960,775
赤十字看護師の養成費	1,798,892
献血普及・管下施設の指導	145,507
救急法・健康生活支援講習等普及	4,112,836
赤十字奉仕団の普及と育成強化	5,151,607
青少年赤十字の普及と育成強化	4,972,638
社会福祉活動	17,362
国際救援活動と国際開発協力事業	1,405,800
地区・分区の運営	14,960,049
赤十字社員の整備と増強	12,998,193
赤十字思想の普及と広報活動	6,141,418
本社の活動推進	31,546,184
施設繰り出し・補助金	5,137,400
資金積立	7,000,000
支部の運営管理	133,788,961
支出合計	242,137,622

収入支出差引額（翌年度繰越）	18,845,314
----------------	------------

※上記決算額には、個人住民税控除対象海外救援金（410,000円）が含まれています。

(2) 社会福祉施設特別会計

収 入 の 部	金 額 (円)
受 託 事 業 収 入	845,416,294
そ の 他 事 業 収 入	388,154
経 常 経 費 寄 附 金 収 入	130,929
受 取 利 息 配 当 金 収 入	0
そ の 他 の 収 入	355,599
他 会 計 繰 入 金 収 入	1,028,160
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 入	39,045,790
前 期 末 支 払 資 金 残 高	2,489,538
収 入 合 計	888,854,464

支 出 の 部	金 額 (円)
人 件 費 支 出	677,355,426
事 業 費 支 出	88,098,439
事 務 費 支 出	79,651,005
支 払 利 息 支 出	146,585
そ の 他 の 支 出	241,296
固 定 資 産 取 得 支 出	522,500
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,366,571
他 会 計 繰 入 金 支 出	1,028,160
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	36,208,474
支 出 合 計	886,618,456

収 入 支 出 差 引 額	2,236,008
---------------	-----------

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
医療収益	11,021,115,287
医療外収益	487,136,409
医療社会事業収益	284,240
付帯事業収益	0
特別利益	1,509,797
計	11,510,045,733
事業費目	金額 (円)
支出	
医療費用	11,056,572,267
医療外費用	44,137,989
医療奉仕費用	63,047,014
付帯事業費用	0
特別損失	5,662,585
法人税等	△ 114,044
計	11,169,305,811
収入支出差引額	340,739,922

② 資本的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
固定負債	228,558,362
資産売却収入	0
その他資本収入	566,727,243
計	795,285,605
事業費目	金額 (円)
支出	
固定資産	323,055,072
借入金等償還	472,230,533
計	795,285,605
収入支出差引額	0



15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役 職 名	氏 名	公 職 等
支 部 長	宮 下 宗一郎	青森県知事
副 支 部 長	小 谷 知 也	青森県副知事
同	熊 谷 雄 一	八戸市長
同	工 藤 順 巳	青森県赤十字有功会長、協同組合日専連弘前顧問
監 査 委 員	若佐谷 典 人	税理士
同	加 川 史	元つがる市商工会事務局長
同	高 橋 文 雄	元弘前市健康福祉部長
本 社 理 事	木 明 昭一郎	社会福祉法人福祉の里理事
本 社 代 議 員	木 明 昭一郎	社会福祉法人福祉の里理事
同	村 井 達	青森県赤十字有功会副会長、八戸赤十字病院運営審議会会長
同	成 田 耕 造	青森県赤十字有功会副会長、株式会社成田本店取締役会長

(2) 評議員（選出区分） ※任期：令和4年2月14日～令和7年2月13日

加 川 史（青森市地区）	田 中 武（東津軽地区）
鶴 賀 晃（青森市地区）	宮 本 はる枝（西北地区）
佐 藤 正 則（青森市地区）	安 田 裕（中南地区）
高 橋 文 雄（弘前市地区）	木 村 宣 文（中南地区）
小 柳 紀八郎（弘前市地区）	木 明 昭一郎（上北地区）
中 嶋 幸一郎（八戸市地区）	新 舘 なみゑ（上北地区）
水 溜 広（八戸市地区）	内 藤 要（下北地区）
檜 山 義 則（八戸市地区）	川 村 武 司（三戸地区）
北 山 リ ヅ（黒石市地区）	佐 藤 久美子（三戸地区）
小 関 光 雄（五所川原市地区）	村 井 達（支部長）
澤 橋 勇（十和田市地区）	太 田 直 樹（支部長）
高 橋 博 美（三沢市地区）	成 田 耕 造（支部長）
石 倉 司（むつ市地区）	沼 田 弘 子（支部長）
鶴 賀 善 宏（つがる市地区）	三 橋 一 晃（支部長）
大 里 あ さ（平川市地区）	

（定数30名 現在29名）

長期ビジョンを道標として、「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界へ。

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉事業など、時代のニーズに応え様々な活動を展開してきました。創立から140年が経過し、人口構造の変化・グローバル化・ICT化・気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できる赤十字への変革が求められ、これまでの常識や経験、考え方にとらわれずに、新たな課題に果敢にチャレンジしていく必要があります。

この長期ビジョンを道標として、私たち一人ひとりが自らの発想と意志を持って活動に取り組み、どのような状況にあっても「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界を目指していきたい。変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦です。

— 「日本赤十字社 長期ビジョン」全体像 —

日本赤十字社が
取り組む社会課題

- 災害や紛争から人々が守られる社会づくり
- 人々の健康・福祉を支える地域づくり
- 互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

新たなステージへの行動指針

- 支援を受ける側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長 期 戦 略

— 事業戦略 —

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

— 運動基盤強化戦略 —

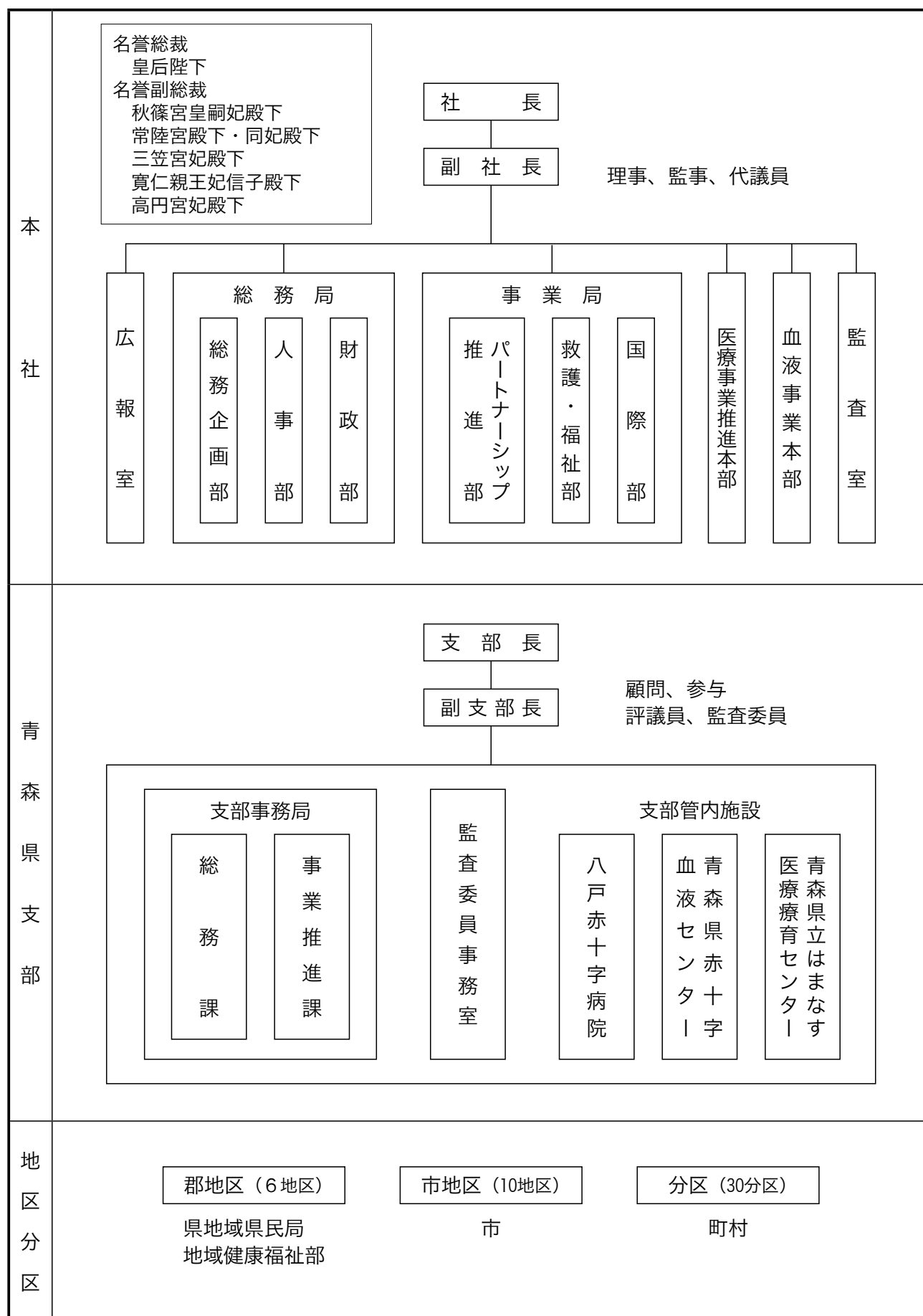
会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

日本赤十字社の組織と機構

(令和6年4月1日 現在)



日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 役員

支部長 宮下 宗一郎
副支部長 小谷 知也、熊谷 雄一、工藤 順巳
本社理事 木明 昭一郎
本社代議員 木明 昭一郎、村井 達、成田 耕造
支部監査委員 若佐谷 典人、加川 史、高橋 文雄

3. 評議員 (令和6年3月31日現在) 29人

4. 赤十字会員数 (令和6年3月31日現在) 個人 2,775人／法人 380社

5. 青森県赤十字有功会員 (令和6年3月31日現在) 個人 176名／法人 145社・団体

6. 災害等救護

救護班(令和6年3月31日現在)	8班 56名
無線局(同上)	基地局 6／移動局 39
救援車輛(同上)	5台
受付義援金(同上)	837件 41,826,358円
配付救援物資(令和5年度)	毛 布 166枚
	緊急セット 86個

7. 講習普及活動 (令和6年3月31日現在)

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	165回	6,259人	94人
水 上 安 全 法	30回	2,565人	30人
健康生活支援講習	1回	2人	3人
幼 児 安 全 法	23回	332人	12人
合 計	219回	9,158人	139人

※指導員養成講習を除く

8. 赤十字奉仕団 (令和6年3月31日現在)

区 分	団 数	登 録 数
地 域	46団	6,622人
青 年	4団	202人
特 殊	9団	636人
合 計	59団	7,460人

9. 青少年赤十字 (令和6年3月31日現在)

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	175園	8,390人
小 学 校	85校	13,708人
中 学 校	41校	7,313人
高 等 学 校	41校	756人
特別支援学校	2校	227人
合 計	344校	30,394人

指導者数 3,903人

10. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
ラオス救急法普及支援事業
バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
ルワンダ気候変動等レジリエンス強化事業
アフガニスタン気候変動対策事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン

11. 肢体不自由児施設 (令和6年3月31日現在) 青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢 体 不 自 由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

12. 医療施設 (令和6年3月31日現在)

八戸赤十字病院 病床総数 434床 (一般374床、精神60床休床)

総患者数		一日平均患者数	
入院患者	112,744人	入院患者	308.0人
外来患者	146,288人	外来患者	604.5人

13. 血液事業 (令和6年3月31日現在)

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数(令和6年3月31日現在)	
血液センター	1	献 血 バ ス	4台
出 張 所	3	献血運搬車両	15台
献血者数		供給本数 (200mL換算)	
200mL	1,248人	全 血 製 剤	0本
400mL	32,787人	赤血球製剤	72,518本
血 漿 成 分	9,378人	血 漿 製 剤	19,583本
血小板成分	3,680人	血小板製剤	101,450本
合 計	47,093人	合 計	193,551本

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	568人
青森県赤十字血液センター	56人
はまなす医療療育センター	83人
合 計	718人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計 (令和6年度当初予算) : 千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	236,400	236,400
社会福祉施設特別会計		歳 出
はまなす医療療育センター	900,249	900,249
医療事業特別会計		収益的支出
八 戸 赤 十 字 病 院	11,322,310	11,393,667

- ・血液センターは各ブロックを会計単位としているため省略。
- ・特に断りのない統計数字等は、令和6年4月1日現在。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号

TEL 017-722-2011 FAX 017-735-3502

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>

八戸赤十字病院

〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2

TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121

ホームページ <http://www.hachinohe.jrc.or.jp/>

日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター

〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729

TEL 0178-31-5005 FAX 0178-31-4144

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/> (青森県支部ホームページ内)

青森県赤十字血液センター

〒030-0966 青森市花園2-19-11

TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和5年度 事業年報
